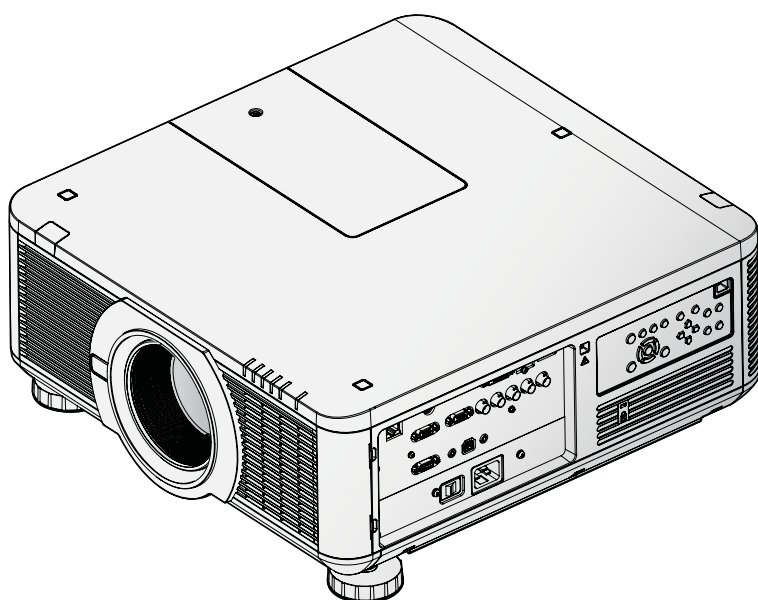




POWER PROJECTOR LX-MU700

使用説明書



ご使用の前に、必ずこの使用説明書をお読みください。
特に「安全にお使いいただくために」の項は必ずお読みになり、正しくご使用ください。
またお読みになった後、この使用説明書をいつでも見られる場所に保管してください。
本製品は日本国内用に設計されております。
電源電圧の異なる外国ではご使用になれません。

著作権

全ての写真、イラスト、ソフトウェアを含み、この出版物は国際著作権法で保護されており、全ての権利は弊社に帰属します。本説明書および含まれる一切の内容について、著者の書面による同意なしに複製する事を禁じます。

© Copyright 2016

ディスクレーマー

本書に含まれる情報は、通知なしに変更される可能性があります。製造者は、本書に含まれる内容について一切の保証をせず、また特に、商品性および特定目的適合性の暗示的な保証を一切行いません。製造者は、本書に含まれる内容を必要に応じて変更する権利を有し、また、かかる改訂や変更についていかなる人物に対しても通知する義務を負わないものとします。

商標について



Kensington は、ACCO Brand Corporation がアメリカで登録した商標であり、世界中の他の国においても登録済みあるいは申請中です。



HDMI、HDMI Logo、および High-Definition Multimedia Interface は、米国およびその他の国における HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。



HDBaseT は、HDBaseT Alliance の登録商標です。



Crestron Connected および Crestron のロゴは、米国およびその他の国々における Crestron Electronics, Inc の登録商標です。

本説明書で使用されているその他すべての製品名はそれぞれの所有者に帰属し、法的に承認されています。

著作権に関する注意

営利目的または公衆に視聴させることを目的として、画面の圧縮、引き伸ばし等を行うと、著作権法で保護されている著作権者の権利を侵害する恐れがありますので、注意してください。

商標について

- Ethernet は、Xerox Corporation の登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows 7、Windows 8、および Aero は、米国およびその他の国における Microsoft Corporation の登録商標です。
- Mac、Mac OS、Macintosh は、米国およびその他の国における Apple Inc. の登録商標です。
- HDMI、HDMI Logo、および High-Definition Multimedia Interface は、米国およびその他の国における HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。
- PLink は、日本、米国、およびその他の国と地域における登録商標あるいは申請中の商標です。
- AMX は、AMX Corporation の商標です。
- Crestron®、Crestron RoomView®、および Crestron Connected™ は、Crestron Electronics, Inc. の登録商標です。

◆ プロジェクターの取り付けについて

- プロジェクターを床の上に設置するか、あるいは天井から吊るして設置する際には、プロジェクターの左右の傾きが 10 度を超えないようにしてください。傾きが 10 度を超えると、光学部品の寿命が短くなる恐れがあります。
- 排気口の周辺には、少なくとも 70 cm の空間を確保してください。
- 排気口から出る熱風が吸気に取り込まれる事がないようにしてください。
- プロジェクターを閉鎖空間で使用する場合は、プロジェクターの動作中、周囲空気の温度が動作温度を超えないようにしてください。また、吸気口と排気口を塞ぐ障害物がない事を確かめてください。

◆ 設置場所の確認事項

- 海拔の高いところに設置する場合は、高地モードを ON にしてください。
- 上向きあるいは下向き投写が可能です。
- ブラケットを取り付ける際には、重量制限を超えておらず、しっかりと固定されている事を確認してください。
- ホコリの多い場所や、十分な冷却がなく高温になる場所への設置は避けてください。
- 赤外線干渉による誤作動を避けるため、製品を蛍光灯に近づけないでください。
- VGA 入力コネクタは、VGA 入力ポートに接続してください。最適の表示効果を得るためには、信号線が適切に接続されるように、ねじの両側をきつく締め付けてしっかり挿入する必要があります。
- 電源コードと信号ケーブルを接続してから、プロジェクターの電源を ON にしてください。プロジェクターの起動と操作中は、プロジェクターが故障する恐れがあるため、信号ケーブルや電源コードの挿入 / 取り外しを行わないでください。

◆ 冷却に関する注意

排気口

- 19 ページの「[換気に関する注意事項](#)」を参照してください。
- 映像の乱れるのを防ぐため、他のプロジェクターのレンズの前に排気口がこないようにしてください。
- 排気口は、他のプロジェクターの吸気口から 70 cm 以上 離してください。
- プロジェクターは、作動中に大量の熱を放出します。シャットダウン中および電源 OFF 後も、一定の間、内部ファンはプロジェクターの熱を放出し続ける場合があります。プロジェクターがスタンバイモード状態になった後、AC 電源ボタンを押してプロジェクターの電源を OFF にし、電源コードを外します。プロジェクターが故障する原因となるため、シャットダウン処理中に電源コードを外さないでください。その間に、熱の放出が遅れるとプロジェクターの動作寿命に悪影響を与える可能性があります。シャットダウン処理は、使用するモデルにより異なる可能性があります。どのような場合においても、必ずプロジェクターがスタンバイ状態になった事を確認してから電源コードを抜いてください。

吸気口

- 吸気を妨げる物体を吸入口から 50cm 以内に置かないようにしてください。
- 吸気口を他の熱源に近づけないでください。
- ホコリの多い場所は避けてください。

◆ 電源について

- 付属の電源コードのみを使用してください。
- 電源コードの上に物を置かないでください。電源コードを、人が歩行する場所に設置しないでください。
- 保管時あるいは長期間使用しない場合には、リモコンから電池を外してください。
- 壁付きコンセントは、装置の電源要件を満たしている必要があります。

◆ ランプの取り替え

ランプの取り替えが正しく行われないと危険です。投写ランプ取り替えについてのより詳しい安全上の説明については、54 ページの「[ランプを交換する](#)」を参照してください。ランプを取り換える前に、

- 電源コードを外してください。
- ランプが冷めるまで 45 分待ってください。



警告：

ランプが点灯しなくなって交換するときのご注意

- 電源投入時や使用中に点灯しなくなったときは、ランプが破裂している可能性があります。その場合、絶対にお客様自身でランプの交換作業は行わず、必ず専門の技術者または販売店に依頼してください。
- 天井取り付けプロジェクターの場合、ランプ カバーを開けた際、あるいは交換時にランプが落下する可能性があります。交換時には、ランプ カバーの真下に立たずに脇に立つようにしてください。
- ランプが破裂した場合、排気口からチリやガス（水銀蒸気を含む）が出てくる恐れがあります。その場合は、直ちに窓やドアを開けて部屋の換気を行ってください。
- 誤ってランプからのガスを吸い込んだ場合や、破片が目や口に入った場合は、直ちに医師の診察を受けてください。

本説明書について

本マニュアルは、専門の技術者およびエンド ユーザー向けであり、DLP プロジェクターの設置および操作について説明します。関連情報（取り付けおよびその説明等）は、できるだけ同じページに記載しています。このように本説明書はプリンター フレンドリーであり、印刷に便利だけでなく、紙を節約して環境を保護します。印刷を行う場合は、必要なページのみを印刷する事が推奨されます。

目次

安全に使用していただくために	1
はじめに	9
内容物の確認	9
プロジェクターの各部の確認	10
正面図	10
左背面図	11
底面図	11
接続端子	12
コントロール パネル	13
リモコン各部	14
リモコン操作範囲	16
Remote ID をプロジェクターに設定する	16
Remote ID の削除	16
プロジェクターおよびリモコンのボタン	16
セットアップおよび操作	17
リモコンへの電池の挿入	17
レンズの取り付け	17
レンズ用盗難防止ねじの使用	18
プロジェクターを設置する際の注意事項	19
プロジェクターの設置およびセットアップ	19
換気に関する注意事項	19
プロジェクターの接続	20
PC と接続	20
映像装置と接続	20
制御装置と接続	21
スクリーントリガーと接続	21
HDBaseT トランスミッターと接続	22
プロジェクターの起動およびシャットダウン	22
プロジェクター高さの調節	23
フォーカスとズームの調節	24
キーストーンの調整	24
レンズ シフトの調節	24
垂直レンズ シフト	25
水平レンズ シフト	26
LX-IL01UW(超短焦点ズームレンズ) についての水平レンズ シフト	26
オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューの設定	27
OSD メニュー コントロール	27
OSD のナビゲート	27
OSD 言語の設定	28
OSD メニュー オーバービュー	29
表示 メニュー	32
映像調整 メニュー	33
色 メニュー	34
VGA セットアップ メニュー	35
ランプ メニュー	36
調整 メニュー	37
レンズ制御 メニュー	38
レンズ メモリ メニュー	38
デジタルアライメント メニュー	40
H/V 調整 メニュー	40

外部制御 メニュー	41
ネットワーク メニュー	42
RS232 メニュー	47
3D メニュー	50
Control ID メニュー	52
サービス メニュー	53
メンテナンスおよびセキュリティ	54
ランプを交換する	54
レンズの交換	56
フィルターの交換	57
左側のフィルターの交換	58
右側のフィルターの交換	59
カラー ホイールの交換	60
プロジェクターの清掃	61
フィルターの清掃	61
レンズの清掃	62
キャビネットの清掃	62
Kensington® ロックの使用	62
トラブルシューティング	63
映像に関する問題	63
ランプに関する問題	63
リモコンに関する問題	63
プロジェクターの修理について	64
仕様	65
製品仕様	65
寸法図	66
投影寸法	67
レンズ シリーズ	68
LED インジケータの表示について	69
LED POWER インジケータ	69
LED STATUS インジケータ	69
LED LAMP1/LAMP2 インジケータ	69
LED TEMP インジケータ	69
LED SHUTTER インジケータ	69
対応入力信号	70
コンピューター	70
3D 信号入力モード	70
投写モードについて	71
付録	72
Canon LX-MU700 プロトコルコマンド	72
インターフェイスおよび要件 (Ver 0.3)	72
システムオペレーションコマンド	72
システムオペレーションコマンド	72
モーターオペレーションコマンド	72

安全に使用していただくために

安全上の注意を表す記号

この使用説明書で使用しているマークについて説明します。本書では製品を安全にお使いいただくため、大切な記載事項には次のようなマークを使用しています。これらの記載事項は必ずお守りください。

 警告	この表示を無視して取り扱いを誤った場合に、死亡または傷害が発生する可能性が想定される内容を示しています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
 注意	この表示を無視して取り扱いを誤った場合に、傷害が発生する可能性が想定される内容を示しています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
 感電注意	この表示を無視して取り扱いを誤った場合に、感電の可能性が想定される内容を示しています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
 分解禁止  接触禁止  水ぬれ禁止  ぬれ手禁止	これらの記号は、行ってはいけない行為（禁止事項）を示しています。図の中に具体的な禁止内容が描かれています。
 禁止	この記号は、その他の行ってはいけない行為（禁止事項）を示しています。
 注意	この記号は、必ず守っていただきたい行為や内容を示します。

電波障害自主規制について

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

使用上のご注意

安全に関する重要な内容ですので、ご使用前によくお読みの上、正しくお使いください

警告

設置する際は、電源プラグをすぐに抜けるようにするか、または配線用遮断装置を手の届くところに設置してください。

以下のような場合はすぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店へご連絡ください。放置すると火災や感電の原因になります。



- 煙が出ている。
- 変なにおいや音がする。
- 水など液体が本機に入った。
- 金属類や異物が本機に入った。
- 本機を倒したり、落したりしてキャビネットを破損した。

電源コードの取り扱いについて以下の点にご注意ください。火災や感電またはけがの原因になります。



- 電源コードの上に重い物を載せたり、本機の下敷きにならないようにしてください。
- 電源コードを敷物などで覆わないでください。
- 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、また巻いたり、束ねたりしないでください。
- 電源コードを熱器具に近づけたり加熱したりしないでください。
- 破損した電源コードを使用しないでください。電源コードが破損した場合は販売店にご相談してください。
- 付属している電源コードは、本製品専用です。他の製品では使用できません。

⚠ 警告

電源および電源プラグ、コネクターの取り扱いについて以下の点にご注意ください。火災や感電またはけがの原因になります。



禁止



感電注意

- 表示された電源電圧(AC100V)以外の電圧で使用しないでください。
- 電源プラグやコネクタを抜くときは、電源コードを引っ張らず、必ず電源プラグやコネクタを持って抜いてください。電源コードが破損します。
- 電源プラグやコネクタの接点部に金属類を差し込まないでください。



ぬれ手禁止



感電注意

- ぬれた手で電源プラグやコネクタを抜き差ししないでください。



注意



感電注意

- 電源プラグやコネクタは根元まで確実に差し込んでください。また、傷んだ電源プラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。
- コンセント付き延長コードを使う場合は、延長コードの定格容量を超えない範囲でお使いください。



注意

- 電源プラグとコンセントは定期的に点検し、プラグとコンセントの間にたまったホコリ・ごみ・汚れなどを取り除いてください。

設置および取り扱い上のご注意

設置および取り扱い上、以下の点にご注意ください。火災や感電またはけがの原因になります。



水ぬれ禁止



感電注意

- 水や雨のかかるおそれのある室外や風呂、シャワー室などで使用しないでください。
- 本機の上に液体の入った容器を置かないでください。



接触禁止



感電注意

- 雷が鳴り出したら、本機、電源コード、ケーブルに触れないでください。



電源プラグをコンセントから抜け



感電注意

- 本機を移動させる場合は、電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間のケーブル類を外してから行ってください。
- 本機のお手入れの際は電源プラグをコンセントから抜いてください。
- レンズユニットを取り付け・交換するときは、必ず本機の電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。感電やけがの原因になります。

警告

設置および取り扱い上、以下の点にご注意ください。火災や感電またはけがの原因になります。



禁止



分解禁止



禁止



注意

- キャビネットを外したり本機を分解しないでください。内部には電圧の高い部分および温度の高い部分があります。内部の点検・整備・修理は販売店にご相談してください。
- 本機(消耗品を含む)・リモコンを改造しないでください。
- 使用中は排気口をのぞかないでください。
- 吸気口や排気口等の穴から物などを差し込まないでください。
- 排気口の前にはスプレー缶を置かないでください。熱で缶内の圧力が上がり、爆発の原因となります。
- 本機はレンズシフト機能により、モーターでレンズが上下左右に動きます。レンズが動いているときは、レンズに触れないでください。けがの原因となることがあります。
- レンズユニットを交換する際は、本機の電源を切った後、45分以上経過し、本体が十分に冷えたことを確認してから行ってください。やけどやけがの原因となることがあります。
- 本機のレンズ・フィルターなどに付着したゴミ・ホコリの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。本機内部ではランプが高温になっているため、引火による火災の原因となることがあります。
- 使用中は強い光が出ていますので、レンズをのぞかないでください。目を傷める恐れがあります。特に小さなお子様にはご注意ください。
- 本機を高いところに置いて使用する場合は、必ず水平で安定した場所に設置してください。
- 天吊り設置についての注意は、専用の天吊り金具(別売品)に同梱している「組立・設置説明書」を見てください。
- 本機を天井から吊るしている場合は、本機を床や作業台に下ろしてからレンズユニットの取り付け・交換を行ってください。部品等が落下し、けがや故障の原因になることがあります。

ランプについての安全上のご注意

本プロジェクターの光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。この水銀ランプには、次のような性質があります。

- ランプは使用時間の経過による劣化などで、次第に暗くなります。
- 衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりします。
- ランプ交換の指示「ランプを交換する」が出た場合、ランプが破裂する可能性が高くなっています。すみやかに新しいランプと交換してください。
- ランプの個体差や使用条件によって破裂や不点灯、寿命に至るまでの時間は大きく異なります。使用開始後まもなく破裂したり、不点灯になる場合もあります。
- 万一来に備え、あらかじめ交換用のランプをご用意ください。

⚠ 警告

ランプ交換および破裂したときは、以下の点にご注意ください。感電やけがの原因になります。



- ランプ交換は必ず電源プラグをコンセントから抜いて、45 分以上待ってから行なってください。
- ランプが破裂した場合は本機の内部にガラス片が散乱している可能性があります。販売店へ本機内部の清掃と点検、ランプの交換を依頼してください。

ランプが点灯しなくなって交換するときのご注意



注 意

- 電源投入時や使用中に点灯しなくなったときは、ランプが破裂している可能性があります。その場合、絶対にお客様自身でランプの交換作業は行わず、必ず専門の技術者または販売店に依頼してください。
- 本機を天井から吊り下げて設置している場合、ランプカバーを開けたり、ランプを交換するなどのときは、ランプが落下する可能性があります。ランプの交換作業時は、ランプカバーの真下に立たず、横から作業してください。
- ランプが破裂した場合、ランプ内部のガス（水銀を含有）や粉じんが排気口から出たりすることがあります。すみやかに窓や扉を開け、部屋の換気を行ってください。
- 万一、ランプから生じるガスや破片を吸い込んだり、目や口に入った場合はすみやかに医師にご相談ください。

⚠ 警告

リモコンの電池に関するご注意

電池の取り扱いについて以下の点に注意してください。火災やけがの原因となります。



禁 止

- 電池を火の中に入れたり、加熱、ショート、分解したりしないでください。
- 付属の電池は充電しないでください。



注 意

- 電池を使いきったときや、長時間使用しないときは電池を取り外してください。
- 電池を交換するときは 2 本いっしょに交換してください。また、種類の違う電池をいっしょに使用しないでください。
- + と－の向きを正しく入れてください。
- 万一、液漏れなどで内部の液体が体についたときは、水でよく洗い流してください。

⚠ 注意

設置および取り扱い上、以下の点にご注意ください。



- 長期間、機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグやコンセントにほこりがたまり、火災の原因となることがあります。
- 投写中は排気口周辺や排気口上部のキャビネットが高温になります。やけどの原因となることがありますので手で触れたりしないでください。特に小さいお子様にはご注意ください。また、排気口周辺や上部に金属を置かないでください。高温になり、事故やけがの原因となることがあります。
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災や感電の原因となることがあります。
- 本機の上に重い物をのせたり、乗らないでください。特に小さなお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に設置しないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- 投写中、レンズの前に物をおかないでください。火災の原因となることがあります。
- 投写中、本機の前で発表する場合は、スクリーンに発表者の影が映らない位置など、まぶしさを感じない位置で行ってください。

ランプの取り扱いに際しては、以下の点にご注意ください。



- ランプを取り出す際は、本機の電源を切った後、45 分以上経過し、ランプと本体が十分に冷えたことを確認してから行ってください。やけどやけがの原因となることがあります。

注意

3D 視聴については、以下の点にご注意ください。



禁 止

- 光過敏の既往症のある人、心臓に疾患がある人、妊娠中の女性、高齢者、重い病気にかかっている方、てんかんの発作が起きやすい方は、3D 映像の視聴を控えてください。病状悪化の原因となることがあります。
- 体調不良や、疲れた状態での 3D 視聴を控えてください。他に、睡眠不足、酒気を帯びているときも、3D 映像の視聴を控えてください。
- 以下のような症状が出た場合は、すぐに 3D 視聴を中止し、症状が軽減されるまで休憩してください。
 - 3D 映像を見ている時に、映像が二重に見えたときや、立体感を感じにくいとき。
 - 3D 映像を見ている時に、疲労感や不快感などの体調変化を感じたとき、使用を中止してください。
- 長時間の使用は、目の疲れの原因になることがありますので、適度に休憩をとってください。長時間の使用や映像を斜めから見ると、眼精疲労などを引き起こす要因となります。
- お子様の 3D 視聴には保護者様が付き添ってください。お子様は、3D 視聴による不快感が生じても、適切に伝えられないことがあるので、保護者様が付き添ってご使用ください。3D 映像の視聴年齢については、およそ 6 歳以上を目安にしてください。
- 3D 映像を見る際は、画面正面の適正な距離ご覧ください。画面正面のなるべく適正な距離（画面縦寸法の約 3 倍以上が目安）から、表示面の水平と両目の水平が近い状態でご覧ください。



注 意

！ 注意

本機を持ち運ぶ際は、以下の点にご注意ください。



注意

- 本機は精密機器です。衝撃を与えたり、倒したりしないでください。故障の原因となることがあります。
- レンズユニット取り付け後に本機を運んだり持ち上げたりするとき、レンズ部を絶対に持たないでください。レンズユニットの故障の原因となります。
- ご購入時の梱包材や緩衝材を本機の運搬、輸送に再利用しないでください。使用済みの梱包材、緩衝材では十分保護できなかったり、また、緩衝材の破片などが本機内部に入り込んで故障の原因となることがあります。
- 本機の輸送が必要になったときは、本機からレンズユニットを取り外して輸送して下さい。輸送時に本機へ過度の衝撃がかかり、レンズユニットの故障の原因になることがあります。
なお、レンズユニットの取り付け、取り外しはお客様自身で行わず、必ず専門の技術者または販売店に依頼してください。
- 本機の接続ケーブルを外してください。ケーブルを取り付けたまま運ぶと、事故の原因となることがあります。
- 移動時に調整脚が出たまま移動すると破損の恐れがありますので、調整脚をおさめてください。

設置または使用に関して以下の点に注意してください。



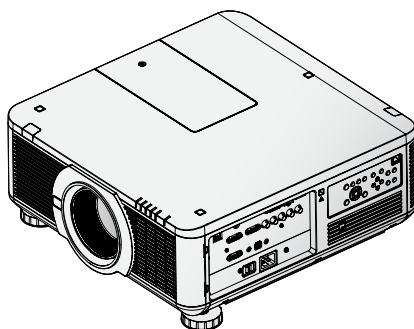
注意

- レンズを素手で触らないでください。画質を損なう原因となることがあります。
- 低温の場所から高温の場所へ急に持ち込んだときは、本機のレンズやミラーに結露して、画像がぼやけることがあります。結露が消えて通常の画像が映るまでお待ちください。
- 高温、低温になる場所に設置しないでください。故障の原因となることがあります。使用温度については「製品の仕様」を参照してください。
- 熱で変形や変色の恐れのあるものを上に置かないでください。
- 高地でご使用される場合や上向き投写、下向き投写でご使用される場合は、プロジェクターの設定を変更する必要があります。設定を変更しないと、ランプの寿命が短くなったり故障の原因となることがあります。詳しくは、販売店にお問い合わせください。
- 高圧電線や電力源の近くに設置しないでください。
- カーペットやスポンジマットなどの柔らかい面の上で本機を使用しないでください。内部に熱がこもり、本機の故障の原因となることがあります。
- 冷却ファンの吸気口および排気口をふさがないでください。吸気口・排気口をふさぐと内部に熱がこもりランプの寿命が短くなったり故障の原因となることがあります。
- 本機を誤った方向に設置すると、故障や事故の原因となることがあります。立てたり左右に傾けて設置しないでください。
- 本機の吸気口、排気口を壁などから離して設置してください。排気の影響で故障の原因となることがあります。
- 湿気やホコリ、油煙やタバコの煙が多い場所には設置しないでください。レンズやミラーなどの光学部品に汚れが付着して、画質を損なう原因となることがあります。

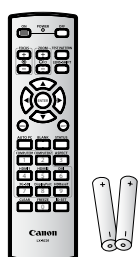
はじめに

内容物の確認

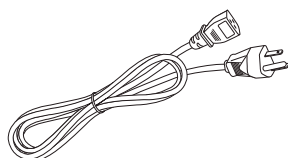
丁寧にプロジェクターの包装を開け、以下が含まれている事を確認してください。



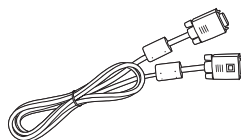
プロジェクター



リモコン
(単三電池 x 2)



電源コード
(2.5M)



コンピューター ケーブル
(1.8M)



CD-ROM
(本使用説明書)



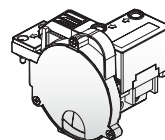
かんたんガイド



重要なお知らせ



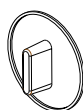
保証書



色優先カラーホイール *



レンズ用盗難防止ねじ
M4 x 0.7 x 70 mm



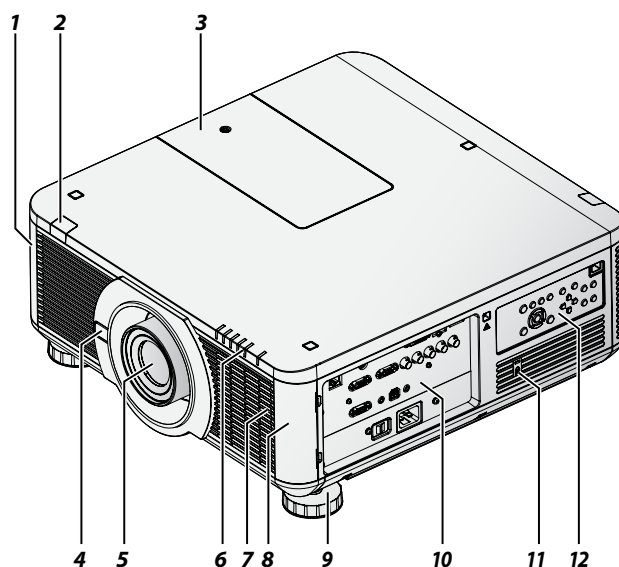
ダスト キャップ

いずれかが欠けている、損傷している、あるいは正しく動作しない等の場合は、直ぐに販売店にお問い合わせください。

* 明るさ優先カラーホイール(6 Segment-BRT)が標準で本体に取り付けられています。色優先の映像に切り替える場合は、付属の色優先カラーホイール(6 Segment-COL)をご使用ください。

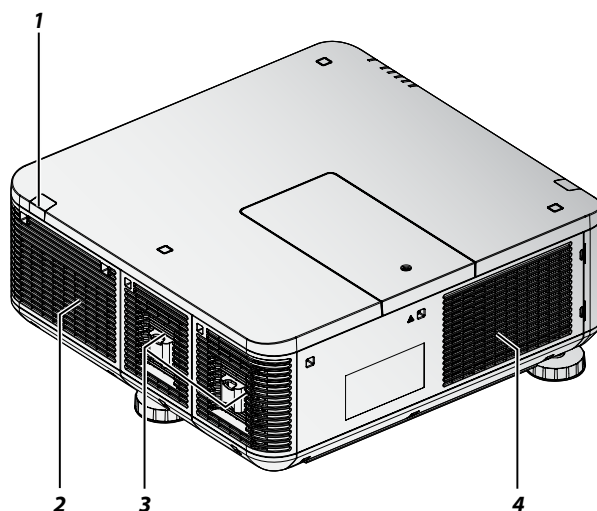
プロジェクターの各部の確認

正面図



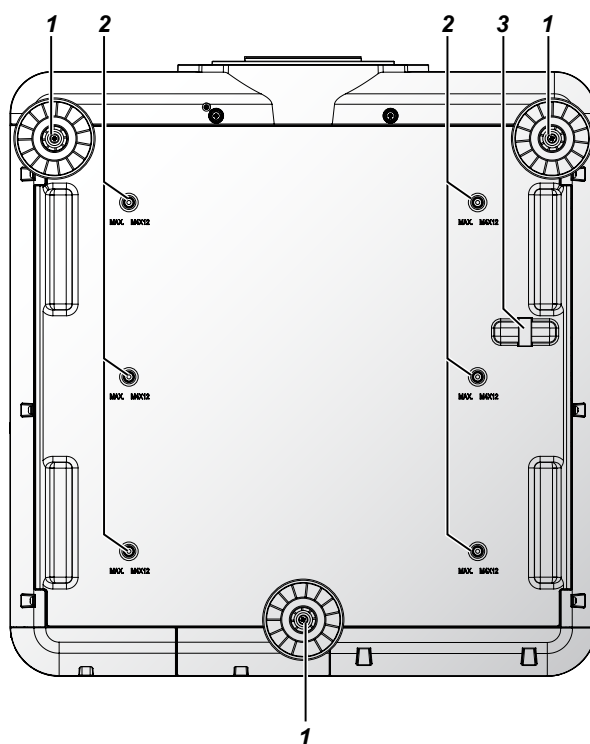
番号	名称	説明
1	フィルター カバー	フィルターを交換する際に取り外します。
2	リモコン受光部	リモコンからの IR 信号を受信します。
3	カラー ホイール カバー	カラー ホイールを交換する際にスライドします。
4	レンズ リリース ボタン	レンズ交換後に押します。
5	レンズ	投影レンズです。(オプション)
6	LED インジケータ	プロジェクターのステータスを表示します。
7	フィルター	プロジェクターの寿命を延ばすために、500 時間ごとにフィルターを掃除することを推奨します。
8	フィルター カバー	フィルターを交換する際に取り外します。
9	調整脚	投影角度の水平度を調整します。
10	接続端子	他の装置に接続する際に使用します。
11	Kensington ロック	Kensington® ロック システムにより、固定物にプロジェクターを固定します。
12	コントロール パネル	プロジェクターの設定を選択あるいは調整する際にボタンを使用します。

左背面図



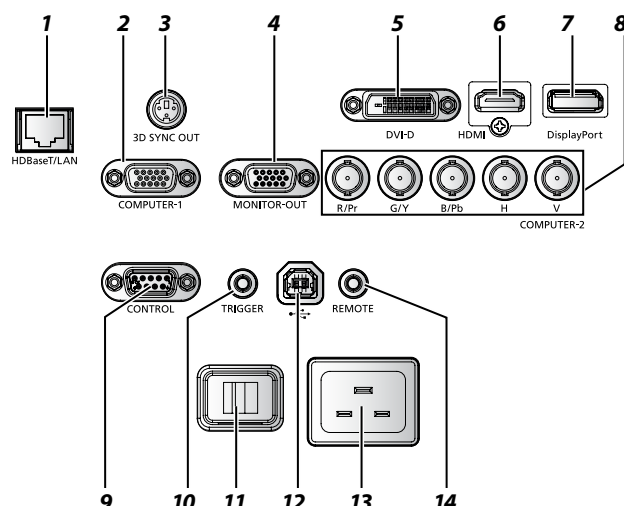
番号	名称	説明
1	リモコン受光部	リモコンからの IR 信号を受信します。
2	排気口	プロジェクターの熱が排気口を通して排出されます。排気口が汚れていないことを確認してください。
3	ランプ カバー	ランプを交換する際に取り外します。
4	フィルター	プロジェクターの寿命を延ばすために、500 時間ごとにフィルターを掃除することを推奨します。

底面図



番号	名称	説明
1	調整脚	投影角の水平度を調整します。
2	固定用ねじ穴	天井取り付け用のねじ穴です。
3	セキュリティ バー	ワイヤー等をかけるための、予備の盗難防止用バーです。

接続端子



番号	名称	説明
1	HDBaseT/LAN*	RJ45 ケーブルに接続します。
2	COMPUTER-1	RGB、HD 部品あるいは PC に接続します。
3	3D SYNC OUT	3D IR 同期信号送信機に接続します。
4	MONITOR-OUT	追加の表示オプション用に、その他の表示機器に接続します。
5	DVI-D	DVI-D 装置へ接続します。
6	HDMI	HDMI 装置へ接続します。
7	DisplayPort	DisplayPort 装置を含む装置に接続します。
8	COMPUTER-2	BNC タイプ出力コネクタを RGB、YPbPr / YCbCr 出力信号映像装置に接続します。
9	CONTROL	システム メンテナンスおよびプロジェクター メンテナンス時に PC へ接続します。
10	TRIGGER	画面操作用の 12 V (+/- 1.5) 出力を提供します。
11	電源スイッチ	プロジェクターの AC 電源を ON、OFF します。
12		メンテナンス時に PC へ接続します。
13	電源ソケット	プロジェクターを壁面コンセントと接続し、電力を供給します。
14	REMOTE	有線リモコンの 1.5 mm ジャックを接続します。

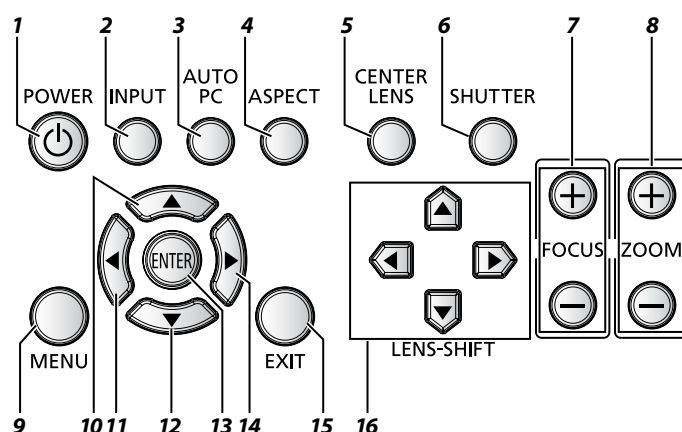
注：

映像機器が様々な入力ソースを持っている場合は、より良い画質を得るために、HDMI、DVD、コンポーネント(VGA を通して)、コンポジットの順に優先して接続する事が推奨されます。

* HDBaseT の注意点

- CAT5e あるいはそれ以上のシールド付ケーブルを使用してください。
- 最大伝送距離は 100 m です。
- ただし、環境によっては 100 m 未満になる可能性もあります。
- コイル状もしくは束になっている LAN ケーブルを使用しないでください。
- 投影中に LAN ケーブルを挿入したり抜いたりすると、ノイズが生じる恐れがあります。
- 市販の全ての HDBaseT トランスミッターとのコネクティビティが保証されている訳ではありません。
- ソース機器をプロジェクターに接続する HDBaseT トランスミッターによっては、投影が正しく行われない可能性があります。

コントロール パネル



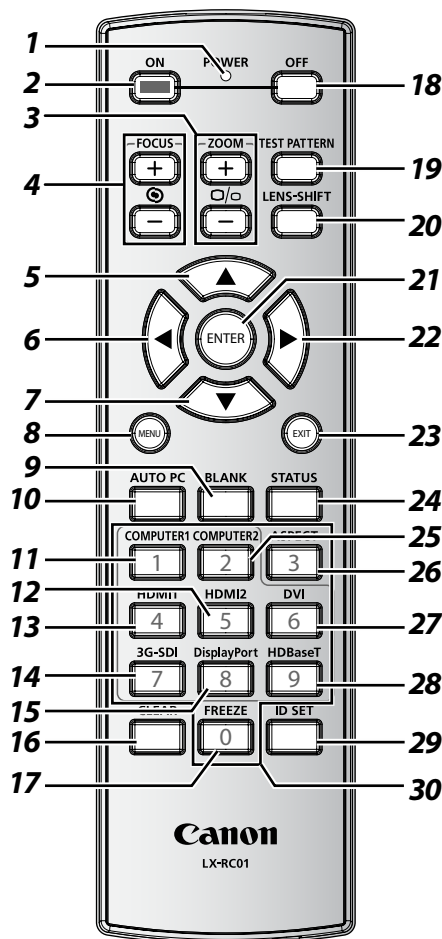
番号	名称	説明
1	POWER	プロジェクターの電源を ON / OFF にする際に押します。
2	INPUT	入力ソースを選択する際に押します。
3	AUTO PC	自動同期処理を開始する際に押します。
4	ASPECT	次のアスペクト比設定へと切り替える際に押します。
5	CENTER LENS	レンズをセンタリングする際に押します。 注： レンズを交換した後は、必ずレンズをセンタリングしてください。
6	SHUTTER	シャッターを開ける / 閉める際に押します。
7	FOCUS	投影された画像の焦点を調整する際に押します。
8	ZOOM	投影された画像のサイズを調整する際に押します。
9	MENU	一つ前に戻る、あるいは OSD メニューを表示 / 非表示する際に押します。
10	▲	OSD の設定をナビゲートあるいは変更します。
11	◀	OSD の設定をナビゲートあるいは変更します。
12	▼	OSD の設定をナビゲートあるいは変更します。
13	ENTER*	変更された設定を確認する際に押します。
14	▶	OSD の設定をナビゲートあるいは変更します。
15	EXIT	OSD メニューを抜ける際に押します。
16	LENS-SHIFT	画像を上下左右に動かす際に押します。

* OSD が表示されていない時に **ENTER** ボタンを押すと、レンズ調整画面が表示されます。

リモコン各部

リモコンの注意事項

- リモコンは丁寧に扱ってください。
- 過剰な熱や湿気を避けてください。
- 電池をショートさせたり、加熱や分解しないでください。
- 電池を火の中に入れてください。
- リモコンを長期間使用しない場合は、電池を外してください。
- 電池の極性(+/-)が正しく合っている事を確認してください。
- 新旧の電池や、異なる種類の電池を一緒に使用しないでください。
- お住まいの地域の決まりに従って電池を廃棄してください。



重要：

1. 明るい蛍光灯がついた状態でプロジェクターを使用しないでください。高周波数の蛍光灯の中には、リモコン操作を妨害するものがあります。
2. リモコンとプロジェクター間に障害物がない事を確認してください。
3. プロジェクター上のボタンとキーは、リモコン上の対応するボタンと同じ機能を持ちます。本使用説明書は、リモコンに基づいて機能を説明します。
4. 専用リモコン(LX-RC01) を使用してください。

番号	名称	説明
1	LED インジケータ	キーが押されると光ります。
2	ON	プロジェクターの電源を ON にする際に押します。
3	ZOOM	投影された画像のサイズを調整する際に押します。
4	FOCUS	投影された画像の焦点を調整する際に押します。
5	▲	OSD の設定をナビゲートあるいは変更します。

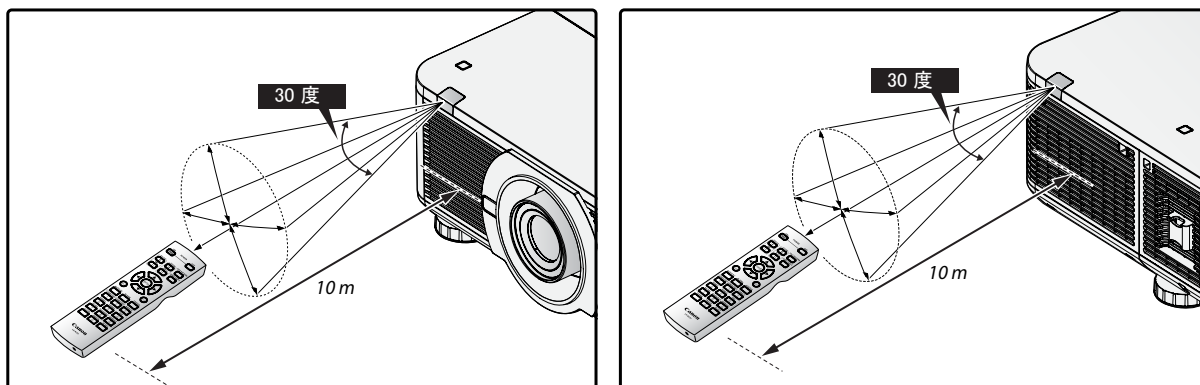
番号	名称	説明
6	◀	OSD の設定をナビゲートあるいは変更します。
7	▼	OSD の設定をナビゲートあるいは変更します。
8	MENU	OSD メニューを表示 / 非表示する際に押します。
9	BLANK	押すとシャッターを開閉できます。
10	AUTO PC	自動同期処理を開始する際に押します。
11	COMPUTER1	入力ソースをコンピューター 1 に切り替える際に押します。
12	HDMI2	入力ソースを HDMI に切り替える際に押します。
13	HDMI1	入力ソースを HDMI に切り替える際に押します。
14	3G-SDI	機能はありません。
15	DisplayPort	入力ソースを DisplayPort に切り替える際に押します。
16	CLEAR	保存された Remote ID を消去します。
17	FREEZE (*1)	投影された画像をフリーズさせる際に押します。
18	OFF	プロジェクターの電源を OFF にする際に押します。
19	TEST PATTERN	テスト パターンを表示する際に押し、次のテスト パターンへと切り替える際に再度押します。投影された画像へと戻すには、EXIT を押します。
20	LENS-SHIFT	映像を上下左右に動かす際に押します。
21	ENTER (*2)	変更された設定を確認する際に押します。
22	▶	OSD の設定をナビゲートあるいは変更します。
23	EXIT	一つ前のレベルに戻る、あるいは OSD メニューを抜ける際に押します。
24	STATUS	サービス メニュー (OSD) を表示する際に押します。
25	COMPUTER2	入力ソースをコンピューター 2 に切り替える際に押します。
26	ASPECT	次のアスペクト比設定へと切り替える際に押します。
27	DVI	入力ソースを DVI に切り替える際に押します。
28	HDBaseT	入力ソースを HDBaseT に切り替える際に押します。
29	ID SET	Remote ID を設定する際に押します。
30	数字ボタン	Control ID あるいは Remote ID を設定する際に数字を押します。

(*1) この機能は 2D 信号に適用可能です。

(*2) OSD が表示されていない時に **ENTER** ボタンを押すと、レンズ調整画面が表示されます。

リモコン操作範囲

リモコンは、プロジェクターを制御する際に赤外線通信を使用します。リモコンをプロジェクターの正面あるいは背面に対しプロジェクターの上下 30 度、半径 10 メートルの範囲にあれば、リモコンは正しく動作します。プロジェクターがリモコンに反応しない場合は、プロジェクターに近づけてください。



Remote ID をプロジェクターに設定する

複数のプロジェクターを独立して操作するには、本 ID 機能を設定します。

- 「Remote ID」は、リモコン用です。
- 「Control ID」は、プロジェクター用です。52 ページを参照してください。

複数のプロジェクターを動かす場合に ID の設定を行ってください。詳細については 52 ページを参照してください。

1. **ID SET** ボタンを 3 秒間押します。リモコン上の LED インジケータが点滅します。
2. Remote ID を指定するには、2 つの数字ボタンを、それぞれ 1 秒以上押し続けてください。処理が完了するまで約 10 秒かかります。

注：

工場出荷時のデフォルトは「X / X」です。「X」は全ての ID を意味します。左側は「Control ID」であり、右側は「Remote ID」です。52 ページを参照してください。

Remote ID の削除

ID SET および **CLEAR** ボタンを 5 秒間押します。リモコンのバックライトが点滅し、ID が消去された事を通知します。

プロジェクターおよびリモコンのボタン

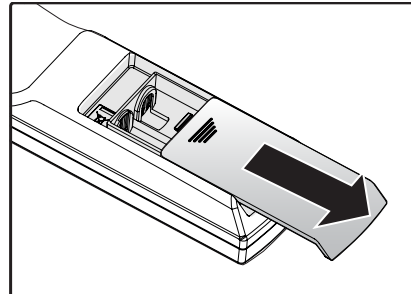
プロジェクターは、リモコンあるいはプロジェクター側面のボタンを使用して操作できます。リモコンを使用すると全ての操作が実行できますが、プロジェクターのボタンで実行できる操作は限られています。

セットアップおよび操作

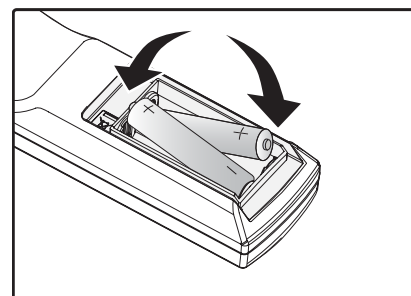
リモコンへの電池の挿入

- 電池が正しい極性で設置されている事を確認してください。
- 新旧の電池や、異なる種類の電池を一緒に使用しないでください。
- リモコンを長期間使用しない場合は、液漏れなどによる損傷を防ぐために電池を外してください。

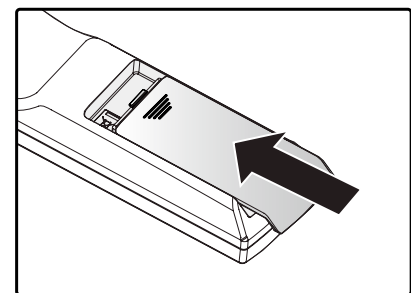
1. 図のように電池カバーを外してください。



2. 2本の単三電池を電池ボックスに入れます。この時、電池と電池ボックスの極性が正しく合っている事を確認してください。

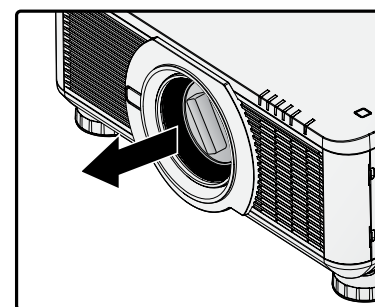


3. 図のように電池カバーを前にスライドしてください。

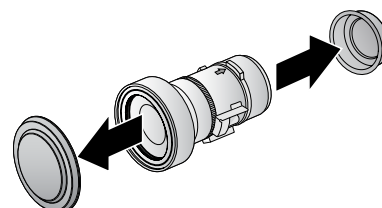


レンズの取り付け

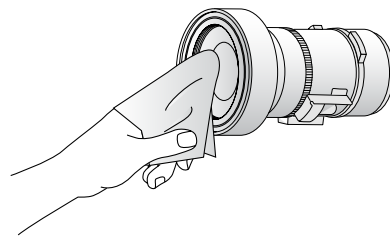
1. ダスト キャップを外してください。



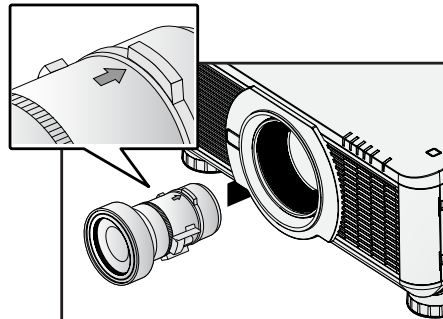
2. 包装から新しいレンズを取り出してください。
3. レンズの前面と背面からレンズ カバーを外してください。必ずレンズを本機に取り付ける前に行ってください。



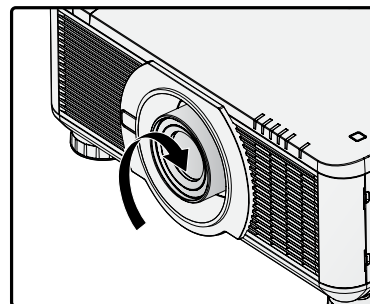
4. 設置前にレンズから汚れを取り除いてください。その際には、レンズの面を傷つける事がないように注意してください。



5. コネクタが上向きでレンズがホルダーに挿入されている事を確認してください。



6. カチッという音がしてレンズが正しく挿入され固定されるまで、レンズを時計方向に回してください。



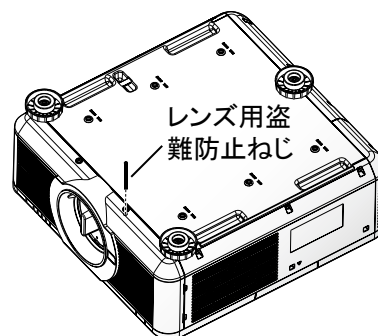
7. レンズを軽く引き、正しい場所に固定されている事を確かめてください。レンズが動かなければ、正しく取り付けられています。

注：

- レンズを取り付け、交換した後は必ず「センターレンズ」を実行してください。
- オプション レンズに付属の使用説明書も参照してください。

レンズ用盗難防止ねじの使用

レンズが意図せずに取り外される事を防ぐため、プロジェクターに付属のレンズ用盗難防止ねじをプロジェクターの裏から締め付けてください。



プロジェクターを設置する際の注意事項

窓からの光やサーチライト等の光が画面に直接当たっていると、映像のコントラストが大きく損なわれ、映像が暗くなり見えにくくなる可能性があります。

プロジェクターの設置およびセットアップ

天井取り付け用に、プロジェクターの底面には 6 つの固定用ねじ穴 (M4 x 0.7 x 12 mm) があります。

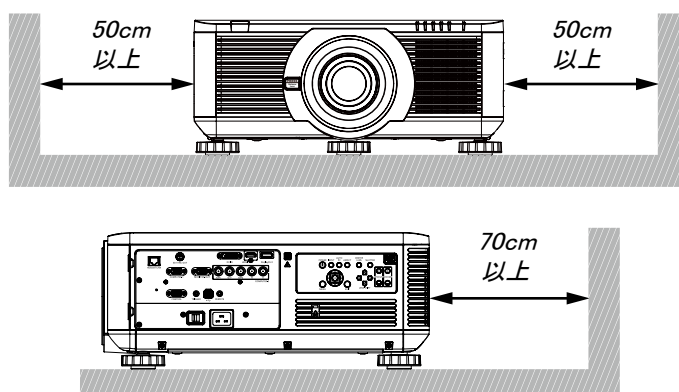
利用可能な設置条件は以下の通りです。

- 前面投写: 机の上にプロジェクターを設置し、正面に映像を投影します。
- リア投写: プロジェクターをスクリーンの後ろに設置し、スクリーンに映像を投影します。
- 天吊投写: 天井にプロジェクターを設置し、正面に映像を投影します。
- リア・天吊投写: プロジェクターをスクリーンの後ろの天井に設置し、スクリーンに映像を投影します。
- 上向き+前面投写: プロジェクターを垂直上方に取り付け、天井のスクリーンに映像を投影します。
- 下向き+前面投写: プロジェクターを垂直下方に取り付け、床のスクリーンに映像を投影します。

換気に関する注意事項

本プロジェクターは高輝度プロジェクターです。十分な冷却を確保するためのフィルター付き空気取り入れ口が左右に存在します。冷却空気を排出するための 2 つの排気口が、プロジェクターの背面にあります。設置の際には、プロジェクターに必要な冷却要件を満たすために、吸気口と排気口周辺に障害物および可燃物がない事を確認してください。少なくとも吸気口の周囲 50 cm と排気口の周囲 70 cm に障害物が存在しない事を確認してください。

システムに対して十分な冷却が行われるように、プロジェクターを設置する際には吸気口や排気口の近くに障害物や可燃物質がない事を確認してください。

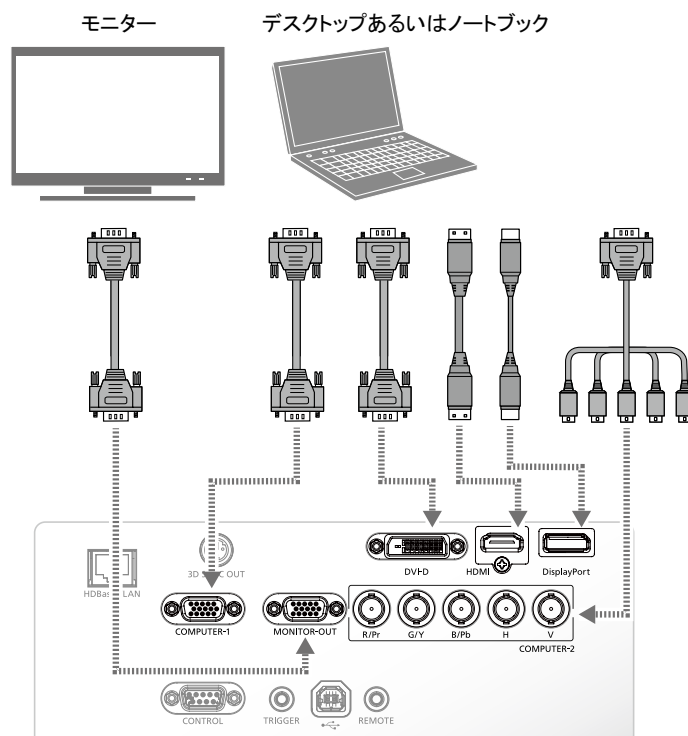


注:

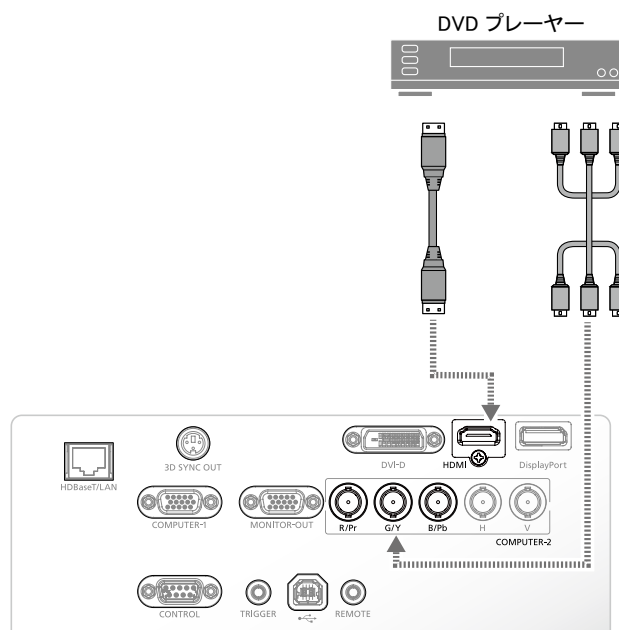
- 冷却が不十分な場合、温度異常によりプロジェクターの動作が停止する場合があります。
- 温度異常は、部品およびランプの寿命を縮めます。
- 閉鎖された空間等に設置する必要がある場合には、温度異常を防ぐため、吸気口および排気口に障害物がないことを確認してください。

プロジェクターの接続

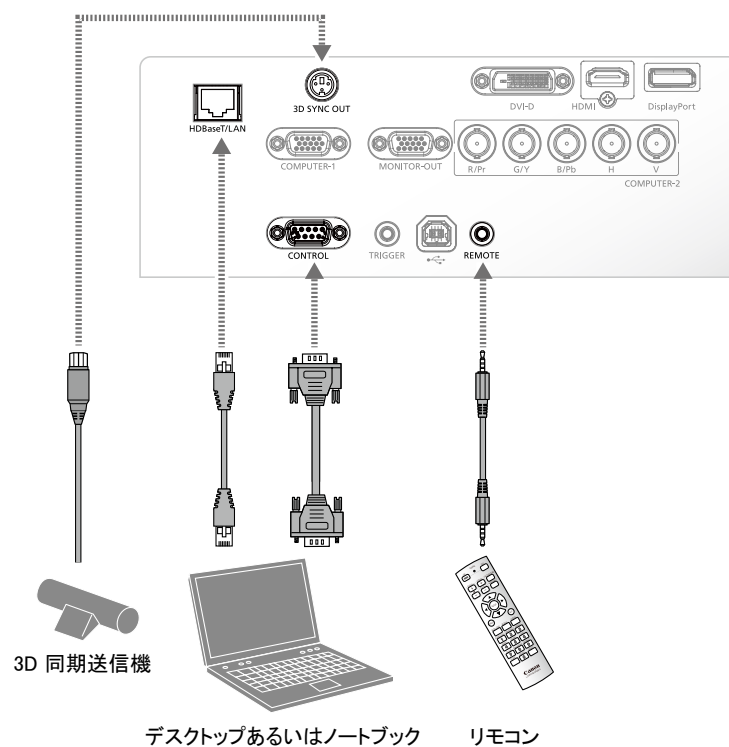
PC と接続



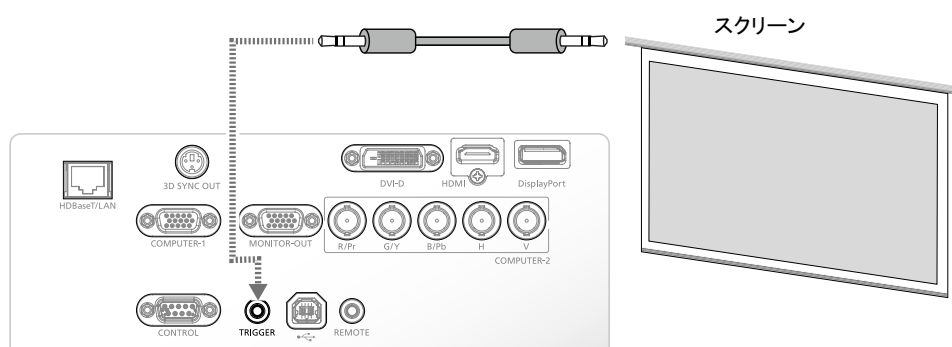
映像装置と接続



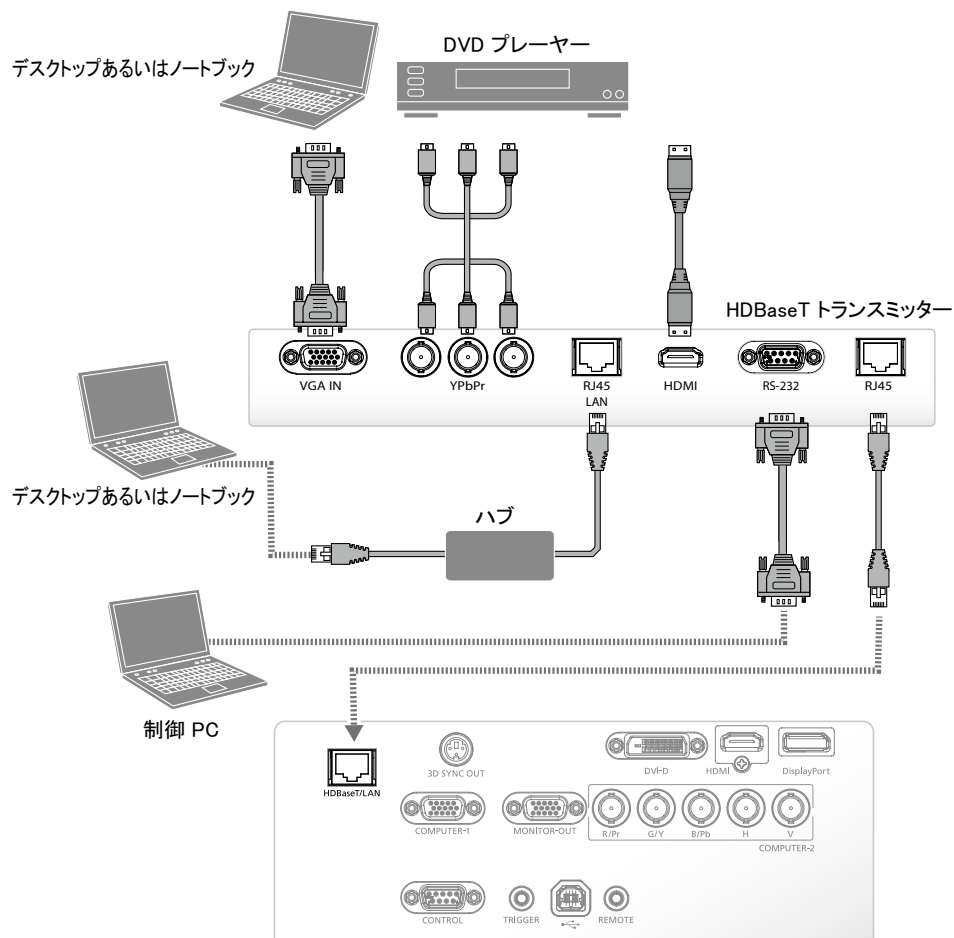
制御装置と接続



スクリーントリガーと接続

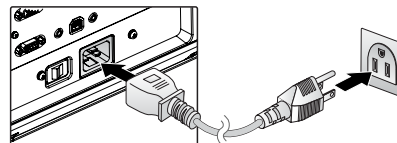


HDBaseT トランスミッターと接続

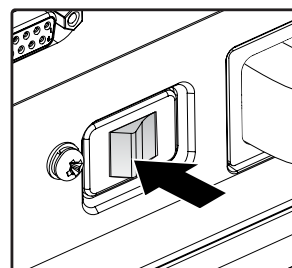


プロジェクターの起動およびシャットダウン

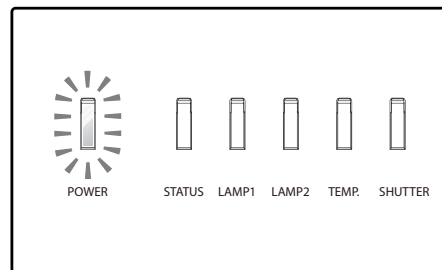
1. プロジェクターに電源コードを接続してください。逆側の先端を壁面コンセントに接続してください。



2. 電源スイッチを入れます。



3. POWER LED 表示が赤く点灯している事を確認してください。プロジェクターの POWER ボタンかリモコンの ON ボタンを押して、プロジェクターの電源を ON にします。
69 ページの「LED POWER インジケータ」を参照してください。



4. リモコンのソース ボタンかプロジェクターの **INPUT** ボタンを押して、望ましい入力ソースを選択します。



5. プロジェクターの **POWER** ボタンかリモコンの **OFF** ボタンを押して、「電源を OFF にしますか？ / 電源をもう一度押してください」プロンプトを表示します。
6. プロジェクターの **POWER** ボタンかリモコンの **OFF** ボタンを押して、プロジェクターの電源を OFF にします。
- 電源スイッチが切られて電源ケーブルが抜かれた後も、冷却ファンはしばらくの間回転し続けます。

⏻ 電源オフしますか？
もう一度押すと電源オフします

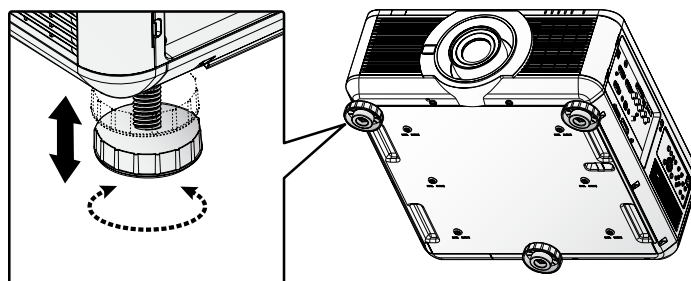
注：

- プロジェクターに付属の電源コードを使用してください。
- 設置前に、供給される電源がプロジェクターの仕様要件を満たしている事を確認してください。

注意：

POWER LED が赤く点灯し、プロジェクターの冷却が完了した事を示すまで、電源ケーブルを抜いたり電源スイッチを切ったりしないでください。

プロジェクター高さの調節

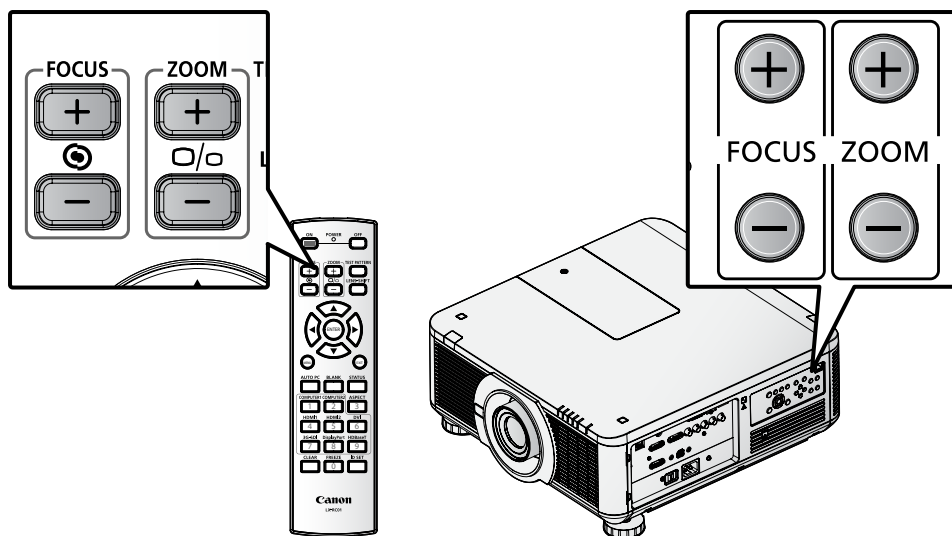


プロジェクターを設置面上で水平にするには、調整脚を使って最大 7° まで上に向けることができます。

調整脚などを使い、傾けて設置すると投写画面が台形にひずみますが、キーストーン補正 (P24) の操作により補正できます。

フォーカスとズームの調節

1. プロジェクターあるいはリモコンの **FOCUS +/-** を押し、投影された画像の焦点を調整してください。
2. プロジェクターあるいはリモコンの **ZOOM +/-** を押し、投影された画像のサイズを調整してください(**ZOOM +** は、画像サイズを大きくし、**ZOOM -** は画像サイズを小さくします)。



キーストーンの調整

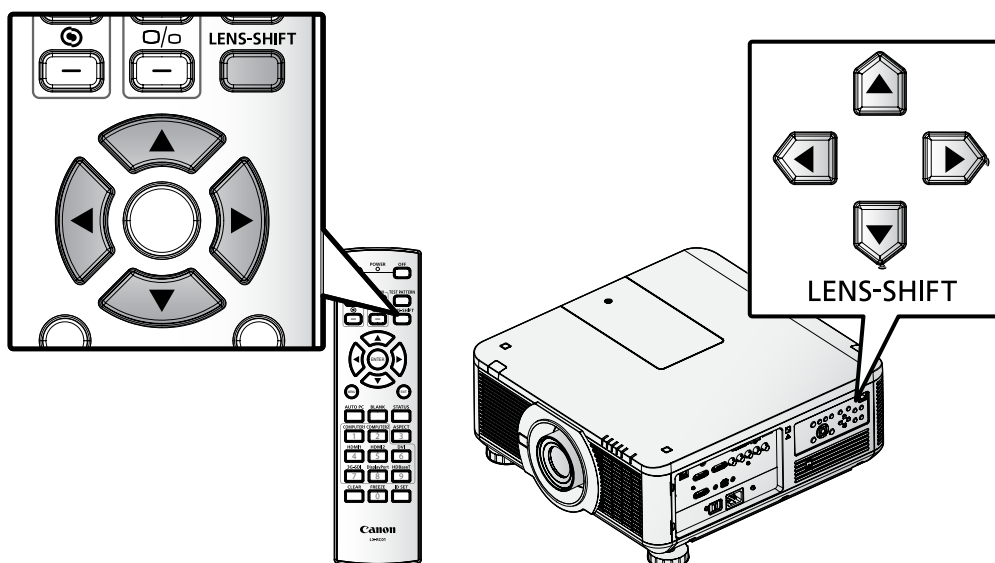
1. **MENU** を押します。◀ あるいは ▶ を押して、**調整**へ移動します。
2. **キーストーン**が選択されるまで、▲ あるいは ▼ を押します。
3. **ENTER** を押してキーストーン コントロール メニューに入ります。
4. ◀ あるいは ▶ を押してキーストーンのゆがみを修正します。



低解像度モードにおいてアスペクトがリアルに設定された場合、キーストーン調整のレベルによっては OSD が範囲外になる可能性があります。

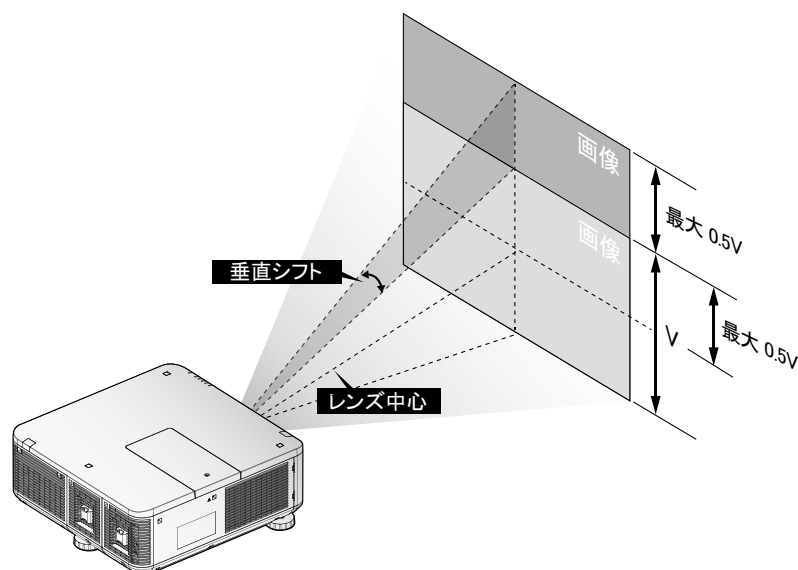
レンズ シフトの調節

レンズシフト機能により、プロジェクターを動かす事なく画像を縦方向と横方向に調整できます。画面高さに対する%で、レンズシフト量が表示されます。

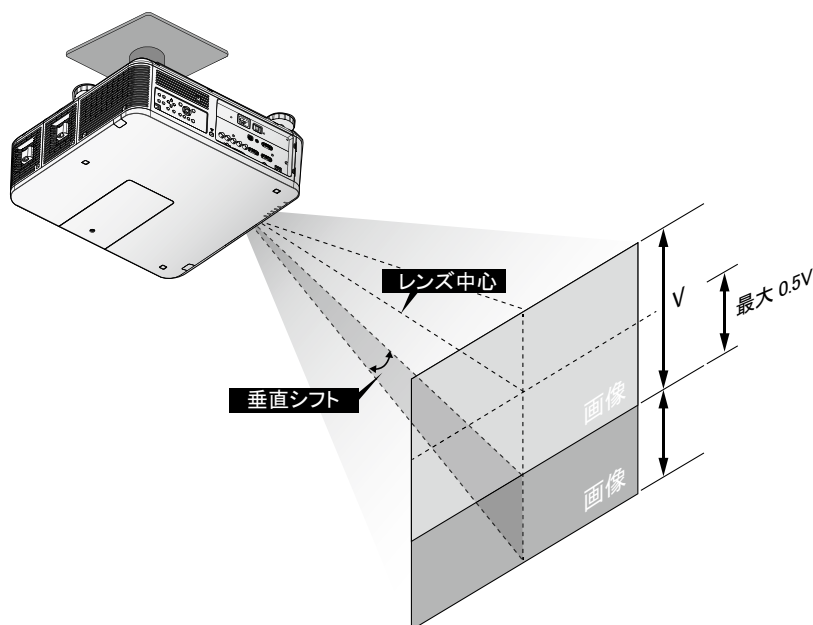


垂直レンズ シフト

机の上に設置されたプロジェクターのレンズは、下から上へと 0% から 50% まで(0.5 V)移動できます。



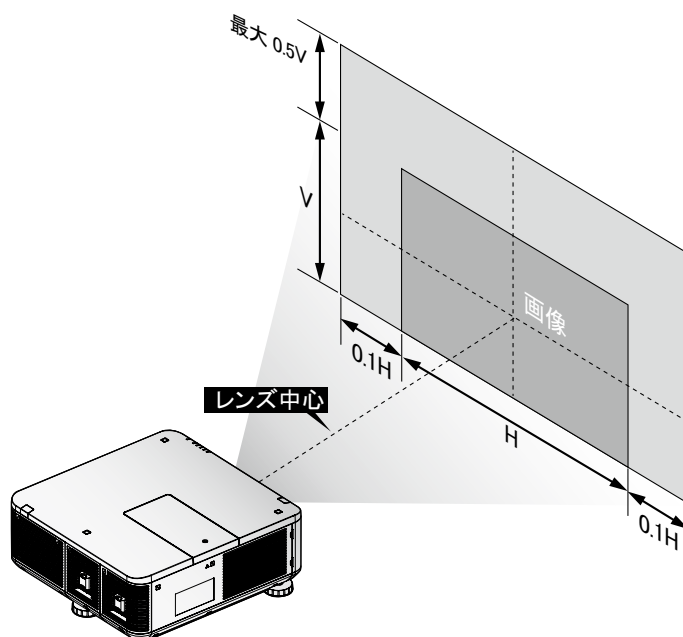
天井に設置されたプロジェクターのレンズは、上から下へと 0% から 50% まで(0.5 V)移動できます。



- 上記のレンズシフト範囲は LX-IL07WF(短焦点固定レンズ)以外の、LX-IL01UW(超短焦点ズームレンズ)、LX-IL02WZ(短焦点ズームレンズ)、LX-IL03ST(標準ズームレンズ)、LX-IL04MZ(中焦点ズームレンズ)、LX-IL05LZ(長焦点ズームレンズ)、LX-IL06UL(超長焦点ズームレンズ)用です。
- レンズ シフトについての光学性能保証範囲は、取り付けレンズによって変化します。
- LX-IL07WF(固定短焦点レンズ)の光学性能保証範囲はレンズシフト 0% の位置です。

水平レンズ シフト

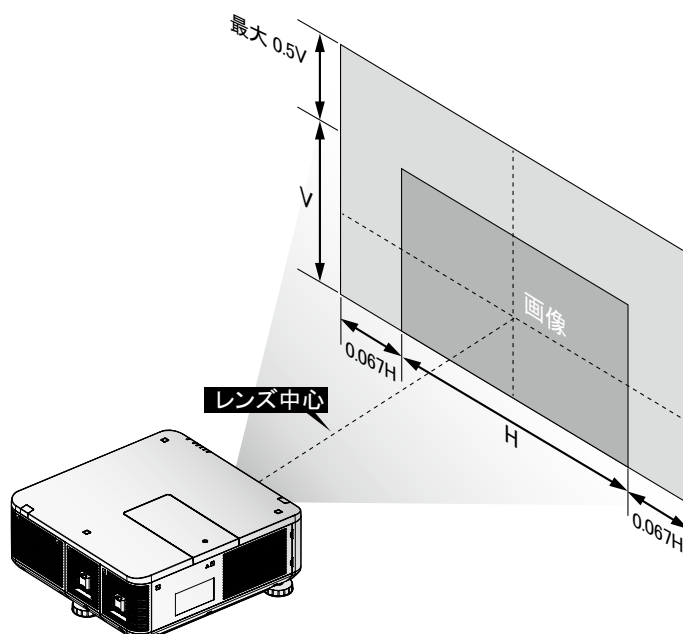
プロジェクターを動かす事なく、画像を横方向へ 10% (0.1 H) 動かす事ができます。



- 上記のレンズシフト範囲は、LX-IL02WZ(短焦点ズームレンズ)、LX-IL03ST(標準ズームレンズ)、LX-IL04MZ(中焦点ズームレンズ)、LX-IL05LZ(長焦点ズームレンズ)、LX-IL06UL(超長焦点ズームレンズ)用です。
- レンズ シフトについての光学性能保証範囲は、取り付けレンズによって変化します。
- LX-IL07WF(固定短焦点レンズ)の光学性能保証範囲はレンズシフト 0% の位置です。

LX-IL01UW(超短焦点ズームレンズ) についての水平レンズ シフト

プロジェクターを動かす事なく、画像を横方向へ 6.70% (0.067 H) 動かす事ができます。



- 上記のレンズシフト範囲は LX-IL01UW(超短焦点ズームレンズ)用です。
- レンズ シフトについての光学性能保証範囲は、取り付けレンズによって変化します。

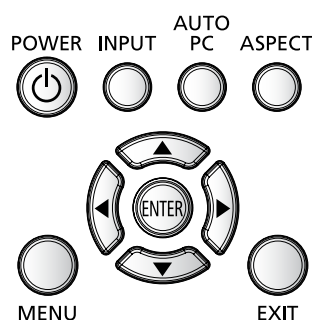
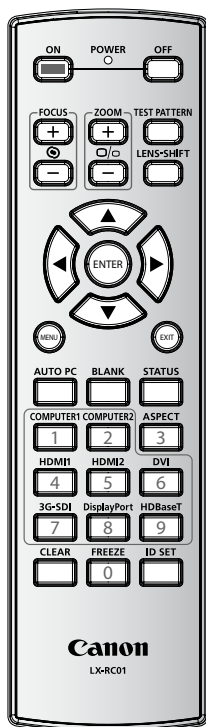
オンスクリーン ディスプレイ(OSD)メニューの設定

OSD メニュー コントロール

本機には、各種調整や設定をおこなうためのオンスクリーンディスプレイメニュー（以下 OSD メニュー）があります。

OSD のナビゲート

リモコンの ▲、▼、◀、▶ キーまたはプロジェクター本体のコントロールパネルを操作してメニュー設定することができます。



1. プロジェクターからリモコンの【MENU】ボタンを押し、OSD メニューを表示します。
2. 6 種類のメニューがあります。【◀/▶（左 / 右）】ボタンを押し、メニューを選択します。
3. 【▲/▼（上 / 下）】ボタンを押し、メニュー内を上下します。
4. 【◀/▶（左 / 右）】ボタンを押し、選択した設定の数値を変更します。
5. 【MENU】ボタンを押すと、OSD 画面を閉じるか、一つ前のメニューに戻ります。

HDMI					
表示	映像調整	ランプ	調整	外部制御	サービス
入力切替					
テストパターン					
カラスペース			オート		
入力ロック			オート		
バックグラウンド			ロゴ		
オートPC調整			常時		
オートPC					
Blue Only			オフ		

OSD 言語の設定

OSD メニューを使用する前に、以下の手順で使用する言語を設定してください。(初期設定は英語になっています。)

1. プロジェクターリモコンの【MENU】ボタンを押します。【◀/▶(左 / 右)】ボタンを押して、【外部制御】メニューを選択します。
2. 【言語】が選択されるまで【▲/▼(上 / 下)】ボタンを押します。

HDMI	
表示	映像調整
ランプ	調整
外部制御	
サービス	
スタンバイモード	
エコ	
オートパワーオフ	
オフ	
ダイレクトパワーオン	
オフ	
ネットワーク	
RS232	
起動時ロゴ	
オン	
トリガー	
オン	
オートサーチ	
オフ	
ダイナミックブラック	
オフ	
3D	
言語	
Control ID	

3. 【▲/▼(上 / 下)】ボタンを押して、使用する言語を選択します。

言語	
●	English
	Français
	Español
	Deutsch
	Português
	Nederlands
	Italiano
	Русский
	简体中文
	繁體中文
	한국어
	日本語

4. 【MENU】ボタンを 3 回押して OSD メニューを閉じます。

OSD メニュー オーバービュー

メインメニュー	サブメニュー	設定		
表示	入力切替	HDMI / DVI-D / Computer-1 / Computer-2/BNC / DisplayPort / HDBaseT		
	テストパターン	カラーバー / クロスハッチ / バースト / 赤 / 緑 / 青 / 白 / 黒 / H ランプ / 未補正赤 / 未補正緑 / 未補正青 / 未補正白 / 未補正黒 / オフ		
	カラースペース	オート / YCbCr / YPbPr / RGB-PC / RGB-Video		
	入力ロック	オート / 48Hz / 50Hz / 60Hz		
	バックグラウンド	ロゴ / 青 / 黒 / 白		
	オート PC 調整	オート / 常時		
	オート PC	Enter		
	Blue Only	オン / オフ		
映像調整	ピクチャーモード	プレゼンテーション / スタンダード / ビデオ		
	コントラスト	0 ~ 200		
	明るさ	0 ~ 200		
	彩度	0 ~ 200		
	色相	0 ~ 200		
	ガンマ	シネマ / グラフィック / ビデオ / リニア / PC		
	色	色温度	ネイティブ	/ 5400K / 6500K / 9300K
		ホワイトバランス	赤オフセット / 緑オフセット / 青オフセット / 赤ゲイン / 緑ゲイン / 青ゲイン	
		色相	赤 / 緑 / 青 / シアン / マゼンタ / 黄	
		彩度	赤 / 緑 / 青 / シアン / マゼンタ / 黄	
		ゲイン	赤 / 緑 / 青 / シアン / マゼンタ / 黄	
		白ゲイン	赤 / 緑 / 青	
	シャープネス	0 ~ 31		
	ノイズリダクション	0 ~ 15		
	アスペクト比	5:4 / 4:3 / 16:10 / 16:9 / 1.88 / 2.35 / レターボックス / オート / リアル		
	オーバースキャン	オフ / クロップ / ズーム		
	VGA セットアップ	総ドット数 / H 開始ドット / トラッキング / V 開始ライン		
ランプ	動作モード	デュアル / ランプ 1 / ランプ 2 / シングル		
	ランプモード	ノーマル / エコ / カスタム		
	高地モード	オン / オフ		
	カスタム電力設定	75% ~ 100% (32 段階)		
	ランプ警告表示	オン / オフ		
	ランプ 1 ステータス	オン / オフ		
	ランプ 2 ステータス	オン / オフ		

工場出荷時設定(リセット後)は太字です。

メインメニュー	サブメニュー	設定	
調整	投写モード	前面投写 / リア投写 / 天吊投写 / リア・天吊投写 / 上向き + 前面投写 / 下向き + 前面投写	
	レンズ制御	ズーム / フォーカスへ	
	レンズ メモリ	ロード メモリ	メモリー 1、2、3、4、5、6、7、8、9、10
		メモリ編集	メモリー 1、2、3、4、5、6、7、8、9、10
	センター レンズ	Enter	
	キーストーン	-80 ~ +80	
	デジタルアライメント	デジタルズーム / デジタルパン / デジタルスキャン / リセット	
外部制御	H / V 調整	H ズーム / V ズーム / H シフト / V シフト / リセット	
	スタンバイモード	標準 / エコ / ネットワーク	
	オートパワーオフ	オン / オフ	
	ダイレクトパワーオン	オン / オフ	
	ネットワーク	IP アドレス	192.168.0.100
		サブネットマスク	255.255.255.0
		ゲートウェイ	192.168.0.254
		DHCP	オン / オフ
		適用	OK / キャンセル
	RS232	ボーレート	115200 / 57600 / 38400 / 19200 / 14400 / 9600 / 4800 / 2400
		チャンネル	ローカル / HDBaseT
	起動時ロゴ	オン / オフ	
	トリガー	オン / オフ	
	オートサーチ	オン / オフ	
	ダイナミックブラック	オン / オフ	
	3D	3D 方式	オフ / オート / サイドバイサイド / トップ / ボトム / フレームシーケンシャル
		DLP Link	オフ / オン
		3D 同期	ノーマル / 逆転
		3D 24Hz 映像投写	96Hz / 144Hz
	言語	English / Français / Español / Deutsch / Português / Nederlands / Italiano / русский / 简体中文 / 繁體中文 / 한국어 / 日本語	
	Control ID	Control ID Enable	オフ / オン
		Control ID Number	1 ~ 99
		Remote ID Number	1 ~ 99

工場出荷時設定(リセット後)は太字です。

メインメニュー	サブメニュー	設定	
サービス	モデル	LX-MU700	
	シリアル番号	XXXXXXXXXXXXX	
	ソフトウェアバージョン 1	MP05-SE06-RD01-9B07	
	ソフトウェアバージョン 2	0D06-LD11-PD06-3090	
	Control / Remote ID	X / X	
	入力ソース	Computer-1	
	ピクセルクロック	148.50 MHZ	
	信号形式	1920 x 1080P	
	H / V リフレッシュレート	H: 67.5 KHZ V: 60 HZ	
	ランプ 1 / 2 点灯時間	xxxx / xxxx 時間	
	プロジェクター使用時間	xxxx 時間	
	工場出荷設定	すべてリセットしますか？	OK / キャンセル

工場出荷時設定(リセット後)は太字です。

表示 メニュー

HDMI					
表示	映像調整	ランプ	調整	外部制御	サービス
入力切替					
テストパターン					
カラスペース			オート		
入力ロック			オート		
バックグラウンド			ロゴ		
オートPC調整			常時		
オートPC					
Blue Only			オフ		

機能	説明
入力切替	入力信号を切り替えます。
テストパターン	【ENTER】ボタンを押して、プロジェクター設置チェックに使用する様々なテストパターンを表示することができます。テストパターンを終了するには、【EXIT】ボタンを押します。
カラスペース	【◀/▶(左 / 右)】ボタンを押して、カラスペースを調節します。選択肢は、[オート]、[YCbCr]、[YPbPr]、[RGB-PC]、[RGB-Video] です。
入力ロック	【◀/▶(左 / 右)】ボタンを押して、入力信号を内蔵同期信号にロックします。選択肢は、[オート]、[48Hz]、[50Hz]、[60Hz] です。
バックグラウンド	【◀/▶(左 / 右)】ボタンを押して、信号が無い場合に表示する背景を選択します。選択肢は、[ロゴ]、[青]、[黒]、[白] です。
オート PC 調整	【◀/▶(左 / 右)】ボタンを押して、入力信号に対して自動調整を行います。選択肢は、[オート]と[常時] です。
オート PC	【ENTER】ボタンを押して、入力信号を自動調整します。
Blue Only	「Blue Only」モードの On / Off を切り替えます。メンテナンスに使用します。

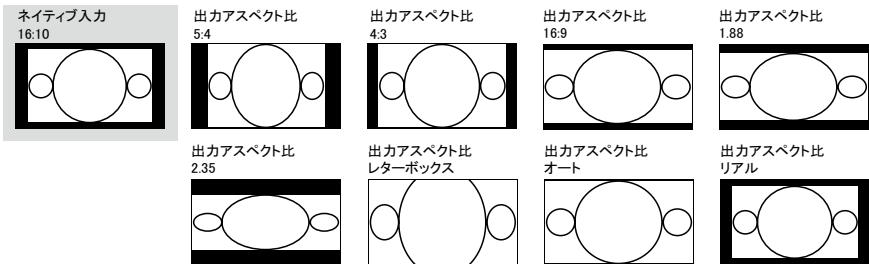
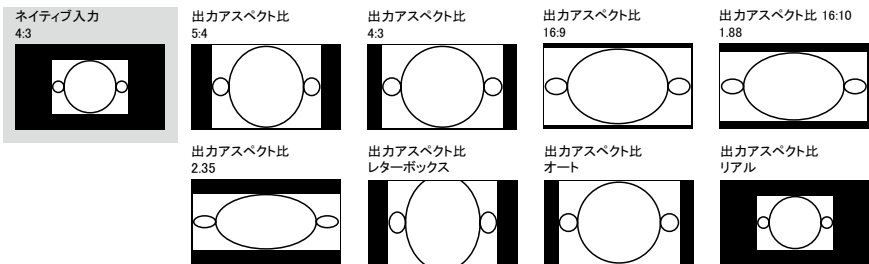
映像調整 メニュー

HDMI	
表示	映像調整
ピクチャーモード	プレゼンテーション
コントラスト	100
明るさ	100
彩度	100
色相	100
ガンマ	ビデオ
色	
シャープネス	0
ノイズリダクション	0
アスペクト比	16:10
オーバースキャン	オフ
VGAセットアップ	

機能	説明
ピクチャーモード(*1)	【◀/▶(左 / 右)】ボタンを押して、ピクチャーモードを選択します。選択肢は、[プレゼンテーション]、[スタンダード]、[ビデオ] です。
コントラスト	【◀/▶(左 / 右)】ボタンを押して、映像のコントラストを調整します。
明るさ	【◀/▶(左 / 右)】ボタンを押して、映像の明るさを調整します。
彩度(*2)	【◀/▶(左 / 右)】ボタンを押して、色の濃さを調整します。
色相(*2)	【◀/▶(左 / 右)】ボタンを押して、色合いを調整します。
ガンマ	【◀/▶(左 / 右)】ボタンを押して、映像のガンマ補正を調整します。選択肢は、[シネマ]、[グラフィック]、[ビデオ]、[リニア]、[PC] です。
色	【ENTER】ボタンを押して、[色] メニューを開きます。詳しくは 34 ページの「 色メニュー 」を参照してください。
シャープネス	【◀/▶(左 / 右)】ボタンを押して、シャープネスを調整します。
ノイズリダクション	【◀/▶(左 / 右)】ボタンを押して、映像のノイズリダクションを調整します。

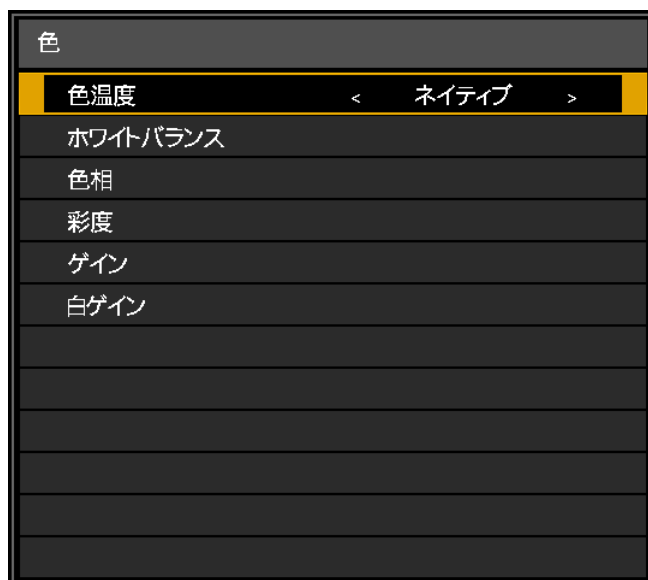
(*1) 3D 投影においては、ピクチャー モードがスタンダードで設定されています。

(*2) ビデオ信号がインプットの時のみ調整可能です。

機能	説明
アスペクト比	【◀/▶(左 / 右)】ボタンを押して、映像のアスペクト比を調整します。 16:10 アスペクト比  4:3 アスペクト比 
オーバースキャン	【◀/▶(左 / 右)】ボタンを押して、映像周辺部の乱れを除去して投写します。選択肢は [オフ]、[クロップ]、[ズーム] です。
VGA セットアップ *	【ENTER】ボタンを押して、[VGA セットアップ] メニューを開きます。詳しくは 35 ページの「VGA セットアップ メニュー」を参照してください。

* コンピューターからの信号が Computer-1 および Computer-2/BNC を通じて入力されている場合のみ、調整可能です。

色 メニュー



機能	説明
色温度	【◀/▶(左 / 右)】ボタンを押して、色温度を調節します。選択肢は [ネイティブ]、[5400K]、[6500K]、[9300K] です。
ホワイトバランス	【◀/▶(左 / 右)】ボタンを押して、[ホワイトバランス] メニューを開きます。【▲、▼、◀、▶(上下左右)】ボタンを押して、ホワイトバランスを調整します。

機能	説明
色相	【ENTER】ボタンを押して、[色相]メニューを開きます。【▲、▼、◀、▶(上下左右)】ボタンを押して設定を調整します。
彩度	【ENTER】ボタンを押して、[彩度]メニューを開きます。【▲、▼、◀、▶(上下左右)】ボタンを押して設定を調整します。
ゲイン	【ENTER】ボタンを押して、[ゲイン]メニューを開きます。【▲、▼、◀、▶(上下左右)】ボタンを押して設定を調整します。
白ゲイン	【◀/▶(左 / 右)】ボタンを押して、[白ゲイン]メニューを開きます。【▲、▼、◀、▶(上下左右)】ボタンを押して設定を調整します。

VGA セットアップ メニュー

VGAセットアップ			
総ドット数	<	100	>
H 開始ドット		100	
トラッキング		100	
V 開始ライン		100	

機能	説明
総ドット数	【◀/▶(左 / 右)】ボタンを押して、Computer-1 / Computer-2/BNC 信号表示の H トータル 値を調整します。
H 開始ドット	【◀/▶(左 / 右)】ボタンを押して、Computer-1 / Computer-2/BNC 信号表示の H スタート 値を調整します。
トラッキング	【◀/▶(左 / 右)】ボタンを押して、Computer-1 / Computer-2/BNC 信号表示の H フェイズ 値を調整します。
V 開始ライン	【◀/▶(左 / 右)】ボタンを押して、Computer-1 / Computer-2/BNC 信号表示の V スタート 値を調整します。

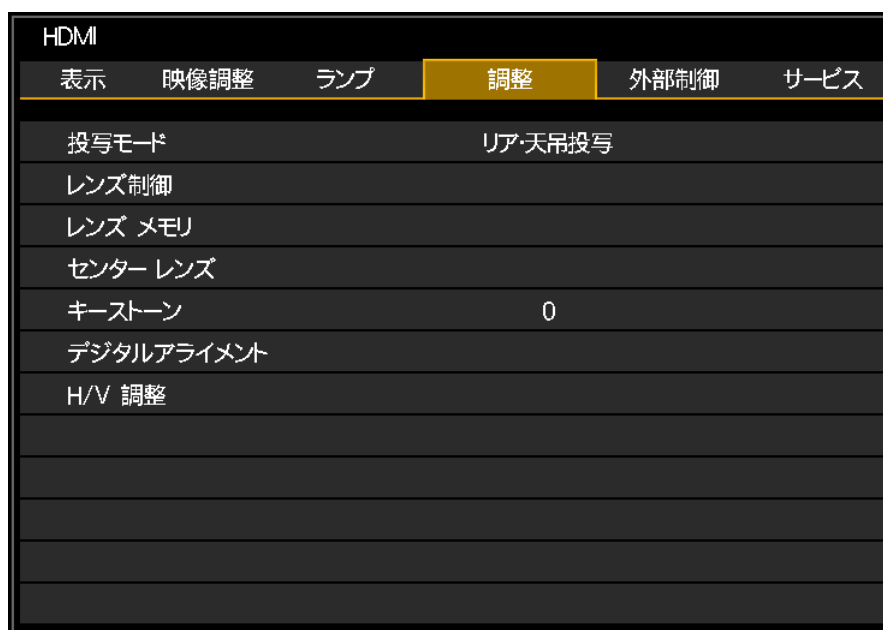
ランプ メニュー

HDMI					
表示	映像調整	ランプ	調整	外部制御	サービス
動作モード					
ランプモード			カスタム		
高地モード			オフ		
カスタム電力設定			100.0 %		
ランプ警告表示			オン		
ランプ 1 ステータス			オン		
ランプ 2 ステータス			オン		

機能	説明						
動作モード	【ENTER】 ボタンを押して、[動作モード] メニューを開きます。【▲/▼(上 / 下)】 ボタンを押して、ランプモードを選択します。選択肢は [デュアル]、[ランプ 1]、[ランプ 2]、[シングル] です。 注： [ランプ 1]、[ランプ 2] モードを使用すると、どちらかのランプにエラーが発生した場合にランプが切り替わります。対応するランプの LED が点滅します。 - ランプ モードをシングル モードに設定した後、プロジェクターを再起動する事が推奨されます。シングル モードでは、起動時にプロジェクター短いランプ使用時間を選択し、ランプが ON になっている間中それを使用します。 - ランプモードを急激に切り替えると、ランプの寿命が縮まる可能性があります。モード切り替え中はランプモード機能が無効になります。 - ランプモード切り替えが完了するまでは、ランプモードの選択はできません。約 5 分かかります。						
ランプモード	【◀/▶(左 / 右)】 ボタンを押して、電源モードを選択します。選択肢は [ノーマル]、[エコ]、[カスタム] です。						
高地モード	この設定は以下の条件で行われる必要があります。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>温度</th><th>海拔</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5°C ≤ , ≤ 23°C</td><td>1200 m ~ 3000 m</td></tr> <tr> <td>23°C < , ≤ 40°C</td><td>1219 m ~ 3048 m</td></tr> </tbody> </table> 【◀/▶(左 / 右)】 ボタンを押して、プロジェクター高地モードのオンとオフを切り替えます。 注： 高温環境または高地でプロジェクターを使用する場合、自動的に電源が切れる可能性があります。[高地モード] を [オン] にすることで、より高速でファンを回転させ、プロジェクターの正常な冷却が行われるように設定することができます。	温度	海拔	5°C ≤ , ≤ 23°C	1200 m ~ 3000 m	23°C < , ≤ 40°C	1219 m ~ 3048 m
温度	海拔						
5°C ≤ , ≤ 23°C	1200 m ~ 3000 m						
23°C < , ≤ 40°C	1219 m ~ 3048 m						
カスタム電力設定	【◀/▶(左 / 右)】 ボタンを押して、カスタム電源レベルを選択します。この機能は、[ランプモード] が [カスタム] に設定されている場合にのみ有効です。						

機能	説明
ランプ警告表示	【◀/▶(左 / 右)】ボタンを押して、警告メッセージのオンとオフを切り替えます。指定されたランプ使用時間のときにランプ交換メッセージを表示するかどうかを指定します。 ■ 表示を Off に設定すると、ランプ交換メッセージとランプ交換警告の両方が非表示になります。交換のタイミングを知るには、ランプ カウンターを確認してください。 ■ ランプ交換のタイミングを過ぎてもランプを使用し続けると、ランプが破裂する可能性が高まります。可能な限り速やかに新しいランプと交換してください。
ランプ 1 ステータス	ランプ 1 のステータスを表示します。
ランプ 2 ステータス	ランプ 2 のステータスを表示します。

調整 メニュー



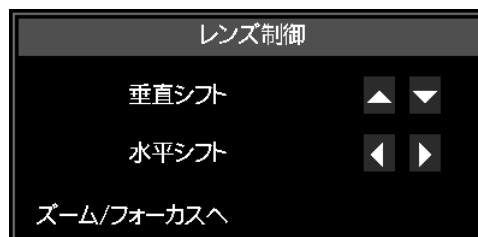
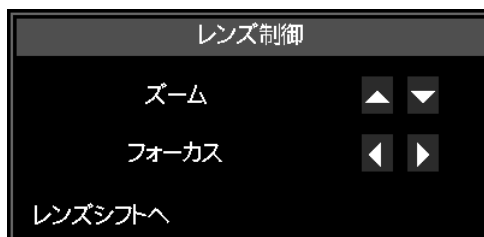
機能	説明
投写モード	【◀/▶(左 / 右)】ボタンを押して、投写モードを選択します。選択肢は [前面投写]、[リア投写]、[天吊投写]、[リア・天吊投写]、[上向き+前面投写]、[下向き+前面投写] です。
レンズ制御	【ENTER】ボタンを押して、[レンズ制御] メニューを開きます。詳しくは 38 ページの「 レンズ制御 メニュー 」を参照してください。
レンズ メモリ	【ENTER】ボタンを押して、[レンズ メモリ] メニューを開きます。詳しくは 38 ページの「 レンズ メモリ メニュー 」を参照してください。
センターレンズ	【ENTER】ボタンを押して、レンズの中心位置を初期化します。 注： プロジェクターにレンズを装着した際には、必ず実行してください。
キーストーン	【◀/▶(左 / 右)】ボタンを押して、プロジェクターの角度によって生じるひずみを補正します。

機能	説明
デジタルアライメント *	【ENTER】 ボタンを押して、[デジタルアライメント] メニューを開きます。詳しくは 40 ページの「 デジタルアライメント メニュー 」を参照してください。
H / V 調整	【ENTER】 ボタンを押して、[H / V 調整] メニューを開きます。詳しくは 40 ページの「 H/V 調整 メニュー 」を参照してください。

* 投影時には、本機能はグレーで表示され使用できません。また、3D 投影が ON になった時に、2D 投影における設定はリセット(0 へ変更)されます。

レンズ制御 メニュー

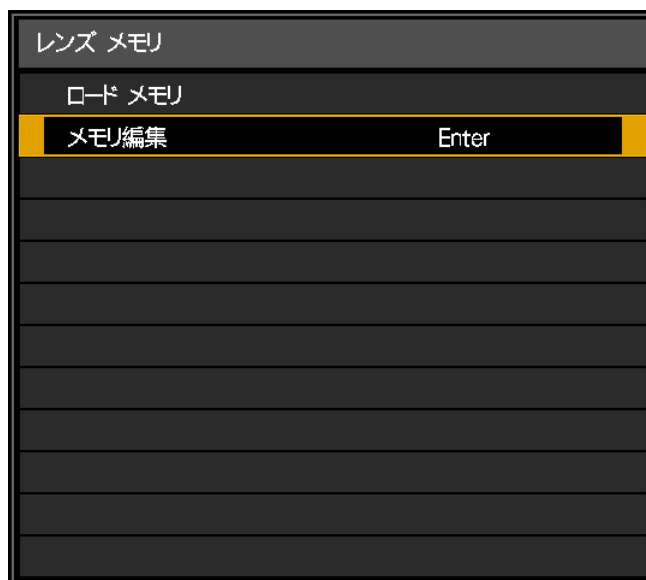
ENTER ボタンを押すと、**レンズ シフト**と**ズーム / フォーカス** メニューを切り替えられます。



「Enter ボタン」を押してレンズシフト、ズーム / フォーカスのメニューを切り替えます。

機能	説明
ズーム	【▲/▼(上 / 下)】 ボタンを押して、レンズのズームを調整します。
フォーカス	【◀/▶(左 / 右)】 ボタンを押して、レンズの焦点を調整します。
垂直シフト	【▲/▼(上 / 下)】 ボタンを押して、レンズの垂直方向位置を調整します。
水平シフト	【◀/▶(左 / 右)】 ボタンを押して、レンズの水平方向位置を調整します。

レンズ メモリ メニュー



機能	説明
ロード メモリ	【ENTER】 ボタンを押して、レンズメモリーリストを開きます。【▲/▼(上 / 下)】 ボタンを押して選択し、【ENTER】 ボタンを押して、レンズ設定を確定します。
メモリ編集	【ENTER】 ボタンを押して、レンズメモリーリストを開きます。詳しくは 39 ページの「 メモリ編集 」を参照してください。

注：

プロジェクターは、メモリーのレンズ位置についての情報を保存することができます。レンズ情報(フォーカス、ズーム、レンズ シフト設定を含む)は 10 セットまで保存でき、復元することができます。

- 保存されたレンズ位置を復元した際に、画像が保存された位置とは若干異なって投影される場合があります。
- レンズシフトを最大位置付近にシフトしている状態でポジションメモリーを実行するとエラーにより現在位置が保存されないことがあります。この場合、シフト位置を最大位置付近より内側方向に戻してからポジションメモリーを再度実行してください。
- 正確な位置決めが求められる場合は、レンズ シフト、ズーム、フォーカス機能を使用して調整してください。

メモリー編集

機能	説明
メモリー 1 - 10	プロジェクターのレンズ制御による調整が完了したら、【▲/▼(上 / 下)】ボタンを押して選択し、【ENTER】ボタンを押し【▶(右)】ボタンを押すと「エディットメモリー」ウィンドーとキーボード画面が開きます。【▲、▼、◀、▶(上下左右)】で選択し、【ENTER】ボタンで選択 / 決定します。 注： 文字、数字、シンボル、スペースが入力可能です。最大入力文字数は 9 文字です。

デジタルアライメント メニュー

デジタルアライメント			
デジタルズーム	<	100	>
デジタルパン		100	
デジタルスキャン		100	
リセット			

機能	説明
デジタルズーム	【◀/▶(左 / 右)】ボタンを押して、映像を拡大します。
デジタルパン	【◀/▶(左 / 右)】ボタンを押して、映像を水平移動します。この機能は、映像が拡大されている場合のみ有効です。
デジタルスキャン	【◀/▶(左 / 右)】ボタンを押して、映像を垂直移動します。この機能は、映像が拡大されている場合のみ有効です。
リセット	【ENTER】ボタンを押して、元のサイズに戻します。

注：

3D 投影時には、本機能はグレーで表示され使用できません。また、3D 投影が ON になった時に、2D 投影における設定はリセット(0 へ変更)されます。

H/V 調整 メニュー

H/V 調整			
H ズーム	<	100	>
V ズーム		100	
H シフト		100	
V シフト		100	
リセット			

機能	説明
H ズーム	【◀/▶(左 / 右)】ボタンを押して、映像の幅を狭めます。
V ズーム	【◀/▶(左 / 右)】ボタンを押して、映像の高さを縮めます。

機能	説明
H シフト	【◀/▶(左 / 右)】ボタンを押して、幅を狭めた映像を水平移動します。この機能は、映像の幅を狭めている場合にのみ有効です。
V シフト	【◀/▶(左 / 右)】ボタンを押して、幅を狭めた映像を水平移動します。この機能は、映像の幅を狭めている場合にのみ有効です。
リセット	【ENTER】ボタンを押して、元の位置に戻します。

外部制御 メニュー

HDMI	
表示	映像調整
スタンバイモード	エコ
オートパワーオフ	オフ
ダイレクトパワーオン	オフ
ネットワーク	
RS232	
起動時ロゴ	オン
トリガー	オン
オートサーチ	オフ
ダイナミックブラック	オフ
3D	
言語	
Control ID	

機能	説明
スタンバイモード	【◀/▶(左 / 右)】ボタンを押して、スタンバイモードを選択します。選択肢は、[標準]、[エコ]、[ネットワーク]です。詳しくは 53 ページの「注:」を参照してください。
オートパワーオフ	【◀/▶(左 / 右)】ボタンを押して、15 分以上信号が受信されない場合にプロジェクターをオフにするかどうかを指定します。
ダイレクトパワーオン	【◀/▶(左 / 右)】ボタンを押して、AC 電源が接続された場合にプロジェクターをオンにするかどうかを指定します。
ネットワーク	【ENTER】ボタンを押して、[ネットワーク]メニューを開きます。詳しくは 42 ページの「ネットワークメニュー」を参照してください。
RS232	【ENTER】ボタンを押して、[RS232]メニューを開きます。詳しくは 47 ページの「RS232メニュー」を参照してください。
起動時ロゴ	【◀/▶(左 / 右)】ボタンを押して、起動ロゴのオンとオフを切り替えます。
トリガー	【◀/▶(左 / 右)】ボタンを押して、プロジェクターの電源がオンの場合にスクリーンをオンにするかオフにするかを選択します。
オートサーチ	【◀/▶(左 / 右)】ボタンを押して、オートサーチのオンとオフを切り替えます。
ダイナミックブラック	【◀/▶(左 / 右)】ボタンを押して、ダイナミックブラック機能のオンとオフを切り替えます。映像の輝度情報を基に、自動的にランプ出力を調整し、明るいシーンや暗いシーン毎にコントラストを最適化します。
3D	【ENTER】ボタンを押して、[3D]メニューを開きます。詳しくは 50 ページの「3Dメニュー」を参照してください。 注: 3D 設定を調整する場合には、あらかじめ入力信号の有無を確認してください。

機能	説明
言語	【ENTER】ボタンを押して、[言語]メニューを開きます。【▲/▼(上 / 下)】ボタンを押して、OSD メニューの言語を選択します。選択肢は、English、Français、Español、Deutsch、Português、Nederlands、Italiano、русский、简体中文、繁體中文、한국어、日本語 です。
Control ID	【ENTER】ボタンを押して、[Control ID]メニューを開きます。詳しくは 52 ページの「Control ID メニュー」を参照してください。

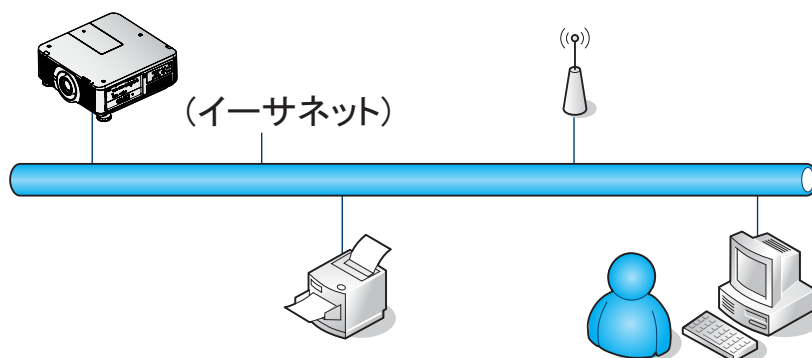
ネットワーク メニュー

ネットワーク	
IP アドレス	< 192.168.0.100 >
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	0.0.0.0
DHCP	オフ
適用	

機能	説明
IP アドレス	【ENTER】ボタンを押して、[IP アドレス] 画面を開きます。【◀/▶(左 / 右)】ボタンを押してアドレスの桁を選択し、【▲/▼(上 / 下)】ボタンを押して各数字を変更します。
サブネットマスク	サブネットマスクを設定します。入力方法は IP アドレスと同様です。
ゲートウェイ	ゲートウェイを設定します。入力方法は IP アドレスと同様です。
DHCP	【◀/▶(左 / 右)】ボタンを押して、DHCP 設定のオンとオフを切り替えます。
適用	【ENTER】ボタンを押して決定します。変更された設定が保存されます。

プロジェクターの操作性を高めるために、本機には様々なネットワークメニュー機能およびリモート管理機能が搭載されています。

本機の LAN/RJ45 機能では、ネットワークメニュー経由でプロジェクターの電源オン / オフ、明るさ、コントラストなどを設定可能です。また、ビデオソース、などといったプロジェクターステータス情報を操作することもできます。



本機の LAN/RJ45 ポートに接続されたコンピューターやその他の機器を使用してプロジェクターを操作することができます。

有線 LAN ターミナル機能

有線 LAN に接続されたコンピューターからプロジェクターを操作したり動作をモニターしたりすることもできます。対応する Crestron / AMX (Device Discovery) / Extron コントロールボックスを使用することで、ネットワークメニュー上の複数のプロジェクターを管理したり、コンピューターのブラウザ画面でプロジェクターの管理を実行することができます。

- Crestron は、米国 Crestron Electronics, Inc. の登録商標です。
- Extron は、米国 Extron Electronics, Inc. の登録商標です。
- AMX は、米国 AMX LLC の登録商標です。

注：

「ネットワークモードにおける 電源 ON / OFF コントロール シークエンスには制限があります。キーパッド、リモコン、IP のいずれを使用しているかにかかわらず、電源 ON コマンドを実行してから約 8～9 秒かかります。」

対応外部機器

本機は Crestron Electronics コントローラーおよび対応ソフトウェア（例：RoomView®）のコマンドに対応しています。

<http://www.crestron.com/>

本機は AMX (Device Discovery) に対応しています。

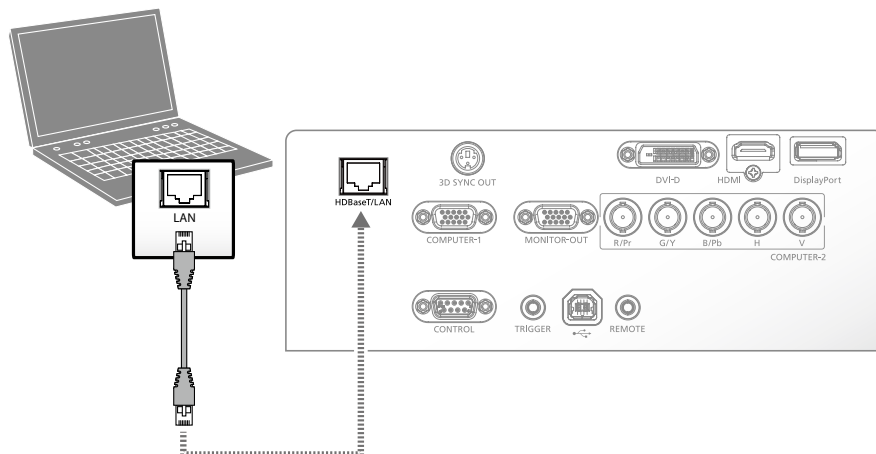
<http://www.amx.com/>

本機は Extron 製品による参照に対応しています。

<http://www.extron.com/>

LAN RJ45

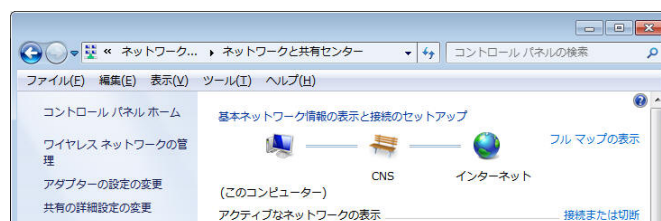
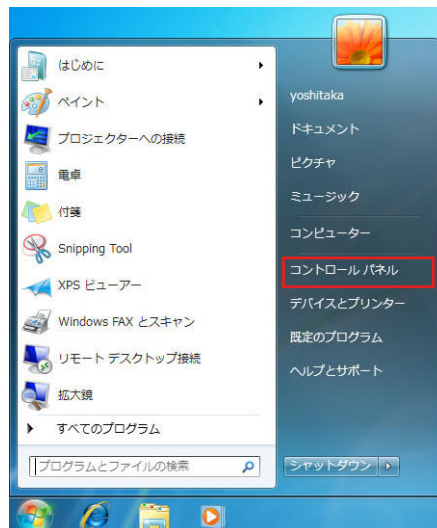
1. RJ45 ケーブルをプロジェクターとコンピューターの RJ45 ポートに接続してください。



互換性のあるブラウザは以下の通りです。

Adobe Flash Player 9.0 もしくはそれ以降に対応している Microsoft Internet Explorer 9。

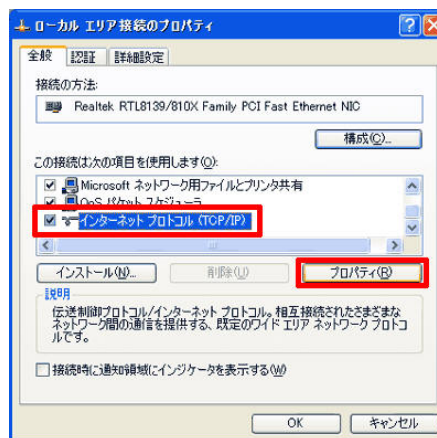
2. コンピューターの [スタートメニュー] で [コントロールパネル] を開き、[ネットワーク メニューとインターネット] をクリックします。



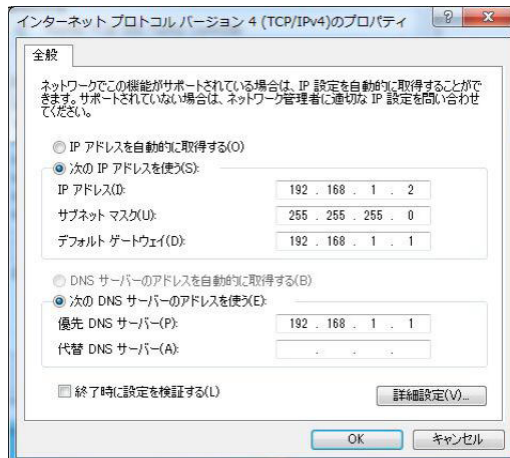
3. [ローカルエリア接続]を右クリックして[プロパティ]を開きます。



4. [プロパティ]画面で[ネットワーキング]タブを選択し、[インターネットプロトコル (TCP/IP)]を選びます。
5. [プロパティ]をクリックします。



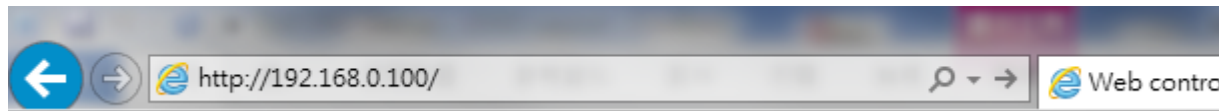
6. [次の IP アドレスを使う]を選択し、IP アドレスとサブネットマスクを設定します。設定が終わったら [OK] ボタンをクリックします。



7. プロジェクターの【Menu】ボタンを押してください。
8. [コントロール]から[ネットワークメニュー]を選択します。
9. [ネットワークメニュー]で次の情報を入力します。
■ IP アドレス: 192.168.0.100
■ サブネットマスク: 255.255.255.0
■ ゲートウェイ: 0.0.0.0
■ DHCP: オフ
10. 【OK】を押して設定を保存します。
11. インターネットブラウザ (Adobe Flash Player 9.0 以上がインストールされた Microsoft Internet Explorer など) を起動します。

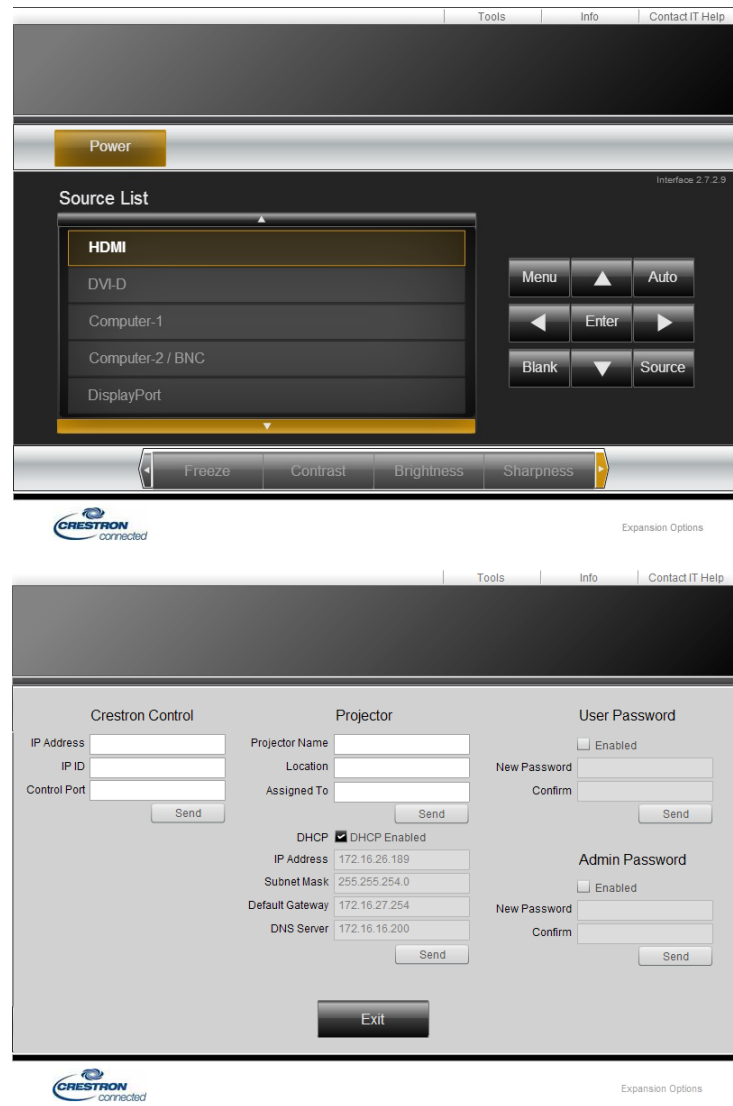
12. ブラウザのアドレスバーに次の IP アドレスを入力します。192.168.0.100。

13. 【OK】を押します。



これでプロジェクターをリモート管理する準備が整いました。LAN/RJ45 機能画面には以下の情報が表示されます。

Web ページの [ツール] タブに表示される [ネットワーク メニュー] 画面で設定できる最大入力可能文字数は以下の表のとおりです。(スペースおよびその他の句読点を含みます。)



機能	項目	最大入力可能文字数
Crestron Control	IP アドレス	15
	IP ID	3
	ポート	5
プロジェクター	プロジェクター名	25
	Location	25
	Assigned To	25

RS232 Telnet 機能

専用 RS232 コマンド操作でプロジェクターを RS232 インターフェースに「ハイパーターミナル」通信を用いて接続する他にも、LAN/RJ45 インターフェース経由で「RS232 TELENET」接続するコマンド操作方法があります。

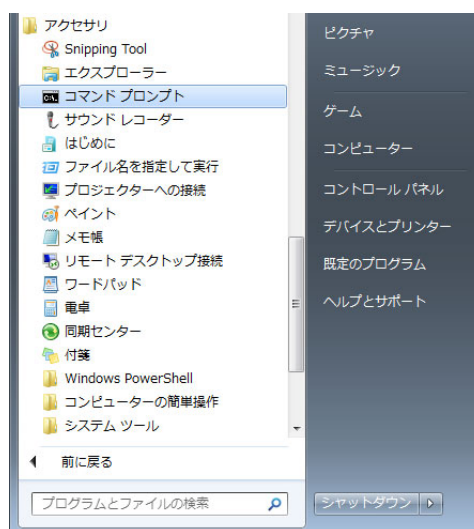
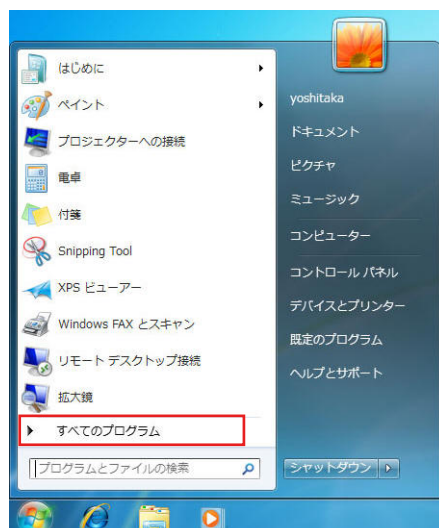
「RS232 Telnet」クイックスタートガイド

OSD メニューから、プロジェクターの IP アドレスを確認します。

コンピューターのブラウザからプロジェクターのページにアクセスできることを確認してください。

「TELNET」機能がフィルターされている場合には、コンピューターの「Windows ファイアーウォール」設定から無効化してください。

[スタート] から [すべてのプログラム] を選択し、[アクセサリ] から [コマンドプロンプト] をクリックします。



コマンドプロンプトに以下のコマンドを入力します。

telnet ttt.xxx.yyy.zzz 7000 ([Enter] キーを押します)

(ttt.xxx.yyy.zzz: プロジェクターの IP アドレスを入力します)

Telnet 接続が起動すると、RS232 コマンド入力 + **【Enter】** キーで RS232 コマンドを送信することができます。

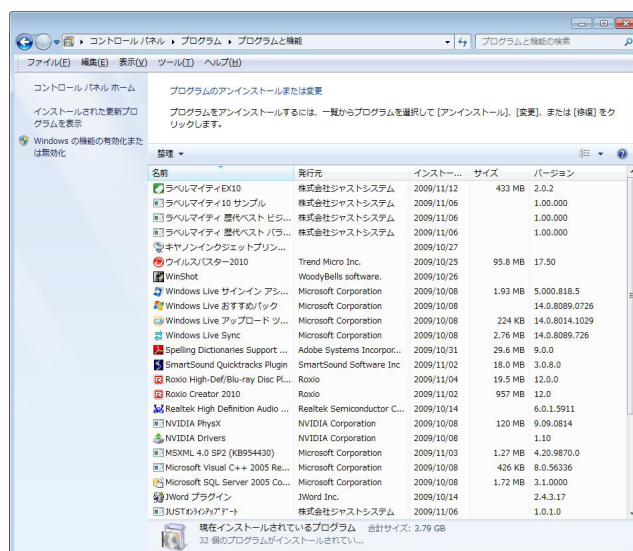
Windows Vista / 7 で TELNET を有効にする

Windows VISTA の通常インストールには、「TELNET」機能が含まれていません。この機能は、「Windows の機能を有効化または無効化する」を使って有効化することができます。

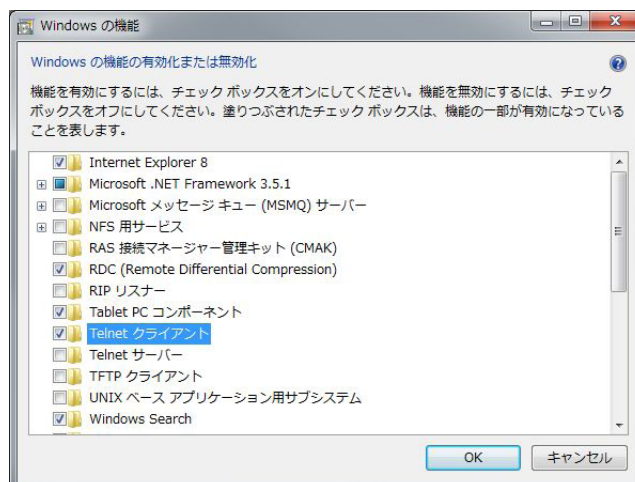
1. Windows VISTA で [コントロールパネル] を開きます。



2. [プログラム] をクリックします。



3. [Windows の機能を有効化または無効化する] を開きます。
4. [Telnet クライアント] をチェックボックスをオンにして、[OK] をクリックします。



「RS232 by TELNET」の仕様一覧

- Telnet: TCP
- Telnet ポート: 7000
- Telnet ユーティリティ: Windows「TELNET.exe」(コンソールモード)
- 通常 RS232 by Telnet 接続切断: TELNET 接続後に Windows Telnet ユーティリティを閉じる
- Telnet-Control 制限事項 1: プロジェクター 1 台あたりに 1 つの Telnet-Control 接続のみ。
Telnet-Control 制限事項 2: Telnet-Control アプリケーションの連続ネットワーク メニューペイロードは 50 バイト以下。
Telnet-Control 制限事項 3: Telnet-Control では、各 RS232 コマンドあたりの最大サイズは 26 バイト。
Telnet-Control 制限事項 4: 各 RS232 コマンド間の最小遅延は 200 (ms)。
(* Windows の内蔵「TELNET.exe」ユーティリティでは、[Enter] を押すと「キャリッジリターン」「改行」が入力されます。)

3D メニュー

3D	
3D方式	Enter
DLP Link	オフ
3D同期	逆転
3D 24Hz 映像投写	96 Hz

機能	説明																										
3D 方式	【ENTER】ボタンを押して、[3D 方式] 画面を開きます。【▲/▼(上 / 下)】ボタンを押して、3D フォーマットを選択します。選択肢は [オフ]、[オート]、[サイドバイサイド]、[トップ / ボトム]、[フレームシーケンシャル] です。 <table><tr><th colspan="2">3D方式</th></tr><tr><td>● オフ</td><td></td></tr><tr><td>オート</td><td></td></tr><tr><td>サイドバイサイド</td><td></td></tr><tr><td>トップ/ボトム</td><td></td></tr><tr><td>フレームシーケンシャル</td><td></td></tr><tr><td> </td><td> </td></tr><tr><td> </td><td> </td></tr><tr><td> </td><td> </td></tr><tr><td> </td><td> </td></tr><tr><td> </td><td> </td></tr><tr><td> </td><td> </td></tr><tr><td> </td><td> </td></tr></table>	3D方式		● オフ		オート		サイドバイサイド		トップ/ボトム		フレームシーケンシャル															
3D方式																											
● オフ																											
オート																											
サイドバイサイド																											
トップ/ボトム																											
フレームシーケンシャル																											
DLP Link	【◀/▶(左 / 右)】ボタンを押して、DLP リンク同期のオンとオフを切り替えます。																										

機能	説明
3D 同期	【◀/▶(左 / 右)】ボタンを押して、3D メガネを使って視聴する 3D 映像のステータスを選択します。選択肢は [逆転]、[ノーマル] です。
3D 24Hz 映像投写	【◀/▶(左 / 右)】ボタンを押して、3D 24Hz イメージフレームレートを設定します。選択肢は [96Hz]、[144Hz] です。

注：

3D コンテンツを見る際の注意事項

- 光線過敏症患者、心臓疾患患者、妊婦、年配者、深刻な病気あるいはがんの病歴を持つ人は、3D コンテンツを見ないでください。

3D コンテンツを見ると、病状の悪化等の恐れがあります。

- 状態がすぐれない、疲れている、睡眠が不足している、アルコールを摂取している等の場合は、3D コンテンツを見ないでください。
 - 以下の症状が現れた際には、ただちに 3D コンテンツを見るのをやめ、症状が治まるまで休憩してください。
 - 二重にぼやけた画像が見える。あるいは、映像が立体的に見えない。
 - 疲労や不快感を感じる場合は、閲覧を中止してください。
 - 回転したり揺れ動く 3D コンテンツを見ている際に、あたかも自分が動いているような感覚になり、「船酔い」状態になる恐れがあります。
 - 3D コンテンツを長時間見続けると、目の疲労につながります。定期的に休憩をとってください。
- 3D コンテンツを長時間見続けたり、斜めから見ると、目の疲労等を生じる恐れがあります。
- お子様が 3D コンテンツを見る際には、かならず大人が付き添ってください。
 - 3D コンテンツを見る際に、お子様は適切に不快感を表現できない可能性があるため、常に様子を確認してください。3D コンテンツを見るのに推奨される年齢は 6 歳以上です。
 - 3D コンテンツを見る際には、画面の正面から適切な距離が保たれている事を確認してください。
 - 3D コンテンツを見る際は、画面の高さの 3 倍以上離れ、目線が画面と水平になるようにしてください。
 - 画像ソースが反転する可能性があります。
 - 設定が正しく行われており、また、3D 効果が正しく適用されている事を確認してください。画像が上下左右に反転して表示されている場合、3D 効果は機能せず、目の疲労や不快感を生じる恐れがあります。

Control ID メニュー

Control ID

Control ID Enable	<	オフ	>
Control ID Number	X		
Remote ID Number	X		

機能	説明
Control ID Enable*	【◀/▶(左 / 右)】ボタンを押して、Control ID のオンとオフを切り替えます。
Control ID Number	【◀/▶(左 / 右)】ボタンを押して、プロジェクターのコントロール番号を設定します。 Control ID Number 50 【ENTER】ボタンを押して、数値を保存します。 適用 OK キャンセル

* 複数のプロジェクターを独立して操作するには、本 ID 機能を設定してください。

- 「Control ID」は、プロジェクター用です。
- 「Remote ID」は、リモコン用です。16 ページを参照してください。

サービス メニュー

HDMI	
表示	映像調整
ランプ	調整
外部制御	サービス
モデル :	LX-MU700
シリアル番号 :	SN-12345678900000366666
ソフトウェアバージョン 1 :	ME05-SE04-RE02-9B07
ソフトウェアバージョン 2 :	OD06-LD11-PD06-3090
Control / Remote ID :	X / X
入力ソース :	DVI-D
ピクセルクロック :	148.5MHz
信号形式 :	1920x1200@60Hz
H/V リフレッシュレート	H:74.038KHz, V:59.950KHz
ランプ 1 / 2 点灯時間 :	0 / 0 HRS
プロジェクタ使用時間 :	122 HRS
工場出荷設定	

機能	説明
モデル	プロジェクターの型名を表示します。
シリアル番号	プロジェクターのシリアル番号を表示します。
ソフトウェアバージョン 1	プロジェクターにインストールされているソフトウェア (パート 1) のバージョンを表示します。
ソフトウェアバージョン 2	プロジェクターにインストールされているソフトウェア (パート 2) のバージョンを表示します。
Control / Remote ID	Control ID / Remote ID を表示します。
入力ソース	接続されている入力ソースを表示します。
ピクセルクロック	接続されている入力ソースのクロック周波数を表示します。
信号形式	接続されている入力ソースの信号方式を表示します。
H / V リフレッシュレート	投写イメージの H / V リフレッシュレートを表示します。
ランプ 1 / 2 点灯時間	ランプ 1 / 2 の使用時間を表示します。
プロジェクター使用時間	動作時間を表示します。
工場出荷設定	【ENTER】 ボタンを押して、OSD 設定を初期化します。 注： 下記の項目は工場出荷設定時にリセットされません。 ランプエラー表示、レンズメモリー、ネットワーク、言語、ランプ 1/2 点灯時間、プロジェクター使用時間。

メンテナンスおよびセキュリティ

ランプを交換する

ランプの使用時間が一定時間を超えると、2 種類のメッセージ(新しいランプを入手してください / 新しいランプと交換してください)が、プロジェクターの電源を入れるたびに 10 秒間表示されます。

ランプ交換警告表示を[オフ]にした場合、メッセージは表示されません。

ランプ番号: LX-LP01

ランプが寿命に達したら、必ず新しいランプに交換してください。ご購入の際は、販売店にご相談ください。

新しいランプと交換した場合、「ランプを交換しましたか?」というメッセージに対して「はい」を選択すると、ランプの使用時間が自動的にリセットされます。



警告:

本プロジェクターの光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。この水銀ランプには、次のような性質があります。

- ランプは使用時間の経過による劣化などで、次第に暗くなります。
- 衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりします。
- ランプ交換の指示が出た場合、ランプが破裂する可能性が高くなっています。すみやかに新しいランプと交換してください。
- ランプの個体差や使用条件によって破裂や不点灯、寿命に至るまでの時間は大きく異なります。使用開始後まもなく破裂したり、不点灯になる場合もあります。
- 万一に備え、あらかじめ交換用のランプをご用意ください。

ランプが点灯しなくなって交換するときのご注意

- 電源投入時や使用中に点灯しなくなったときは、ランプが破裂している可能性があります。その場合、絶対にお客様自身でランプの交換作業は行わず、必ず専門の技術者または販売店に依頼してください。
- 本機を天井から吊り下げて設置している場合、ランプカバーを開けたり、ランプを交換するなどのときは、ランプが落下する可能性があります。ランプの交換作業時は、ランプカバーの真下に立たず、横から作業してください。
- ランプが破裂した場合、ランプ内部のガス(水銀を含有)や粉じんが排気口から出たりすることがあります。すみやかに窓や扉を開け、部屋の換気を行ってください。
- 万一、ランプから生じるガスや破片を吸い込んだり、目や口に入った場合はすみやかに医師にご相談ください。

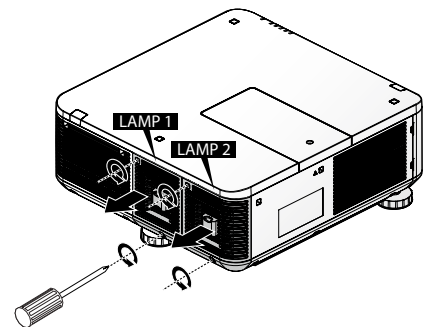
ランプ交換および破裂したときは、以下の点にご注意ください。感電やけがの原因になります。

- ランプ交換は必ず電源プラグをコンセントから抜いて、45 分以上待ってから行ってください。
- ランプが破裂した場合は本機の内部にガラス片が散乱している可能性があります。販売店へ本機内部の清掃と点検、ランプの交換を依頼してください。

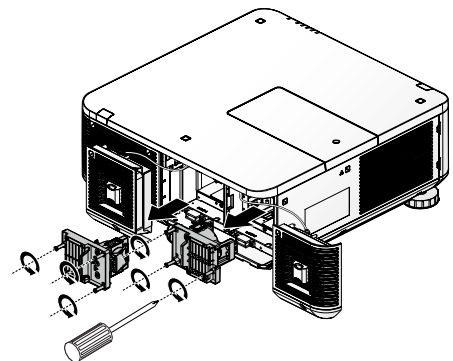
ランプは、必ず指定のものを使用してください。

- ランプのご注文は、お買い上げの販売店にご相談ください。キヤノンのホームページ(<https://store.canon.jp/online/c/c1611/>)からも購入できます。
- ランプ交換の際は、内部のガラス面などに触れないでください。投写の性能が下がるなどの原因になります。
- ランプに衝撃を加えたり傷つけたりすると、使用中に破裂する場合がありますので、取り扱いにご注意ください。万が一ランプが破裂した場合は、販売店に連絡してください。
- ランプを交換の際は、指定のねじ以外ははずさないでください。
- 使用済みランプを捨てる時は各自治体の条例に従って廃棄してください。

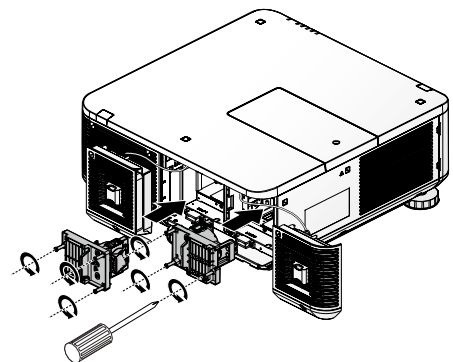
1. 電源を適切に切るには、POWER LED が赤く点灯してからプロジェクターの電源 SW を切ってください。その後に電源コードを抜けば安全です。45 分以上、ランプとプロジェクターを冷ましてください。
2. 固定ねじをゆるめ、ランプカバーを外します。



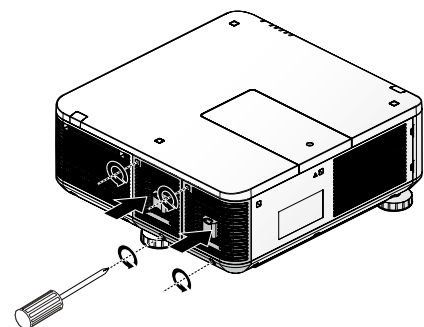
3. 固定ねじをゆるめ、ランプを取り外します。



4. 新しいランプの方向を確認して取り付けます。
5. ランプ固定ねじを締めます。

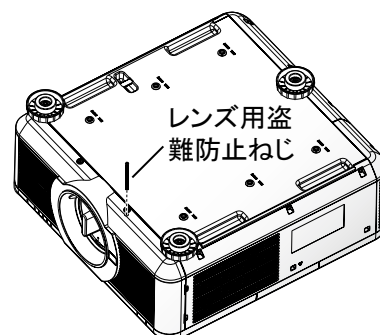


6. ランプカバーを取り付けます。
7. ランプカバーの固定ねじを締めます。

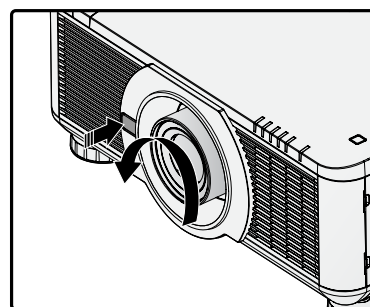


レンズの交換

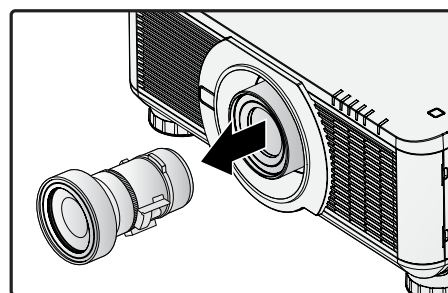
1. 電源を適切に切るには、POWER LED が赤く点灯してからプロジェクターの電源 SW を切ってください。その後に電源コードを抜けば安全です。45 分以上、ランプとプロジェクターを冷ましてください。
2. プロジェクター下面の盗難防止ねじを取外します。場所については以下の図を参照してください。



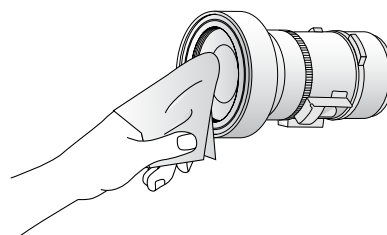
3. リリースボタンを押しながら、レンズを片手で持ちます。
4. レンズを反時計回りに回転させて緩めます。



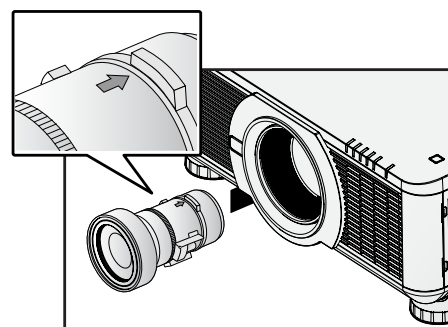
5. レンズを取外します。



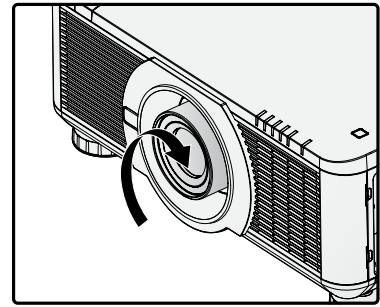
6. 新しいレンズを取り付ける前に清掃します。清掃する時には、レンズの表面を傷つけないように注意してください。



7. 新しいレンズの矢印が上向きの状態でホルダーに押し込まれていることを確認してください。



8. レンズをカチッと音がするまで時計回りに回転させます。これでレンズが固定され、外れないようになっています。



9. レンズを軽く引っ張り、しっかりと固定されていることを確認してください。レンズが抜けないようなら、正しく装着されています。
10. レンズが取り除かれるのを防ぐために、レンズ用盗難防止ねじを取り付けてください。詳しくは 18 ページの「[レンズ用盗難防止ねじの使用](#)」を参照してください。

注：

- レンズを取り外す際には、必ずリリースボタンを押さえたままにしてレンズを緩めて取り出してください。
- レンズを取り付けた後は必ずセンターレンズ機能を使用してください。
- レンズを手動で調整しないでください(LX-IL01UW を除く)。

フィルターの交換

フィルター番号:LX-FL01。

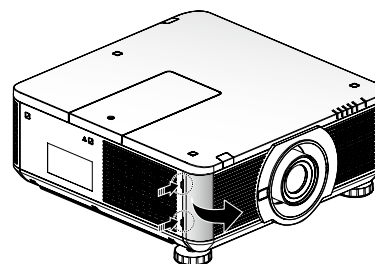
お客様自身でフィルターを交換しないでください。専門の技術者に依頼するか、キヤノンお客様相談センターにお問い合わせください。

注：

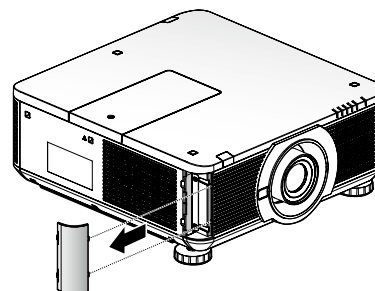
- フィルターが汚れていると、プロジェクター内部に取り込まれる空気の量が減少し、結果としてプロジェクター内部の温度が上昇する可能性があります。温度が上がり過ぎると、保護機能が作動したり、部品が壊れる原因になることがあります。
- 定期的にフィルターの清掃や交換を行ってください。
- ランプの交換時には、フィルターも併せて交換していただくことを推奨します。
- 電源を切って電源プラグを抜いてから、プロジェクターを冷ますために 45 分以上待ってください。

左側のフィルター交換

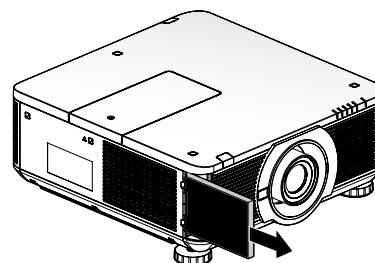
1. 本体の電源を切り、フィルターカバーを図のように開きます。



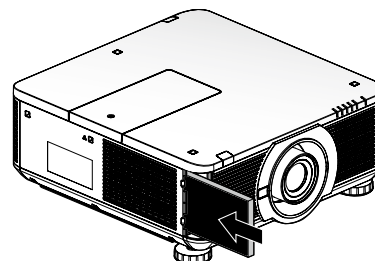
2. フィルターカバーを取り外します。



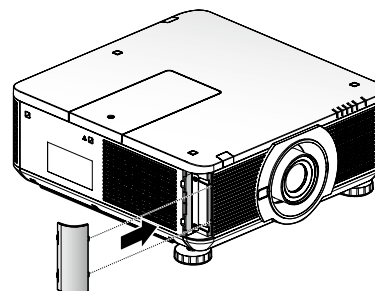
3. フィルターをプロジェクター前面から取り外します。



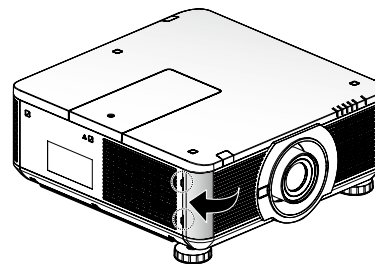
4. フィルターを取り付けます。



5. フィルターカバーのピンをプロジェクターに合わせます。

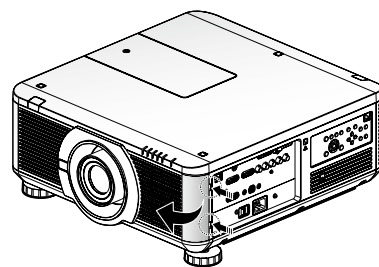


6. フィルターカバーを閉じます。

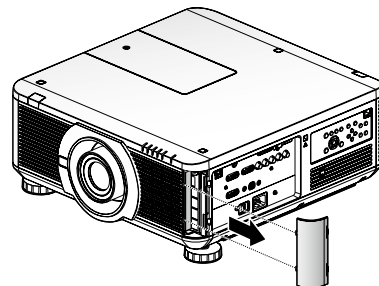


右側のフィルターの交換

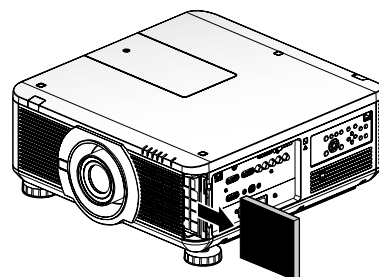
1. フィルターカバーを図のように開きます。



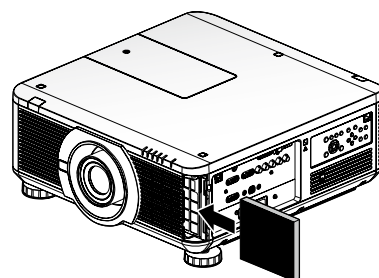
2. フィルターカバーを取り外します。



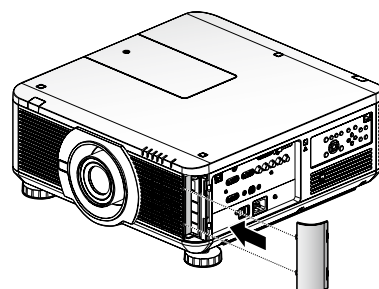
3. フィルターをプロジェクター右側から取り外します。



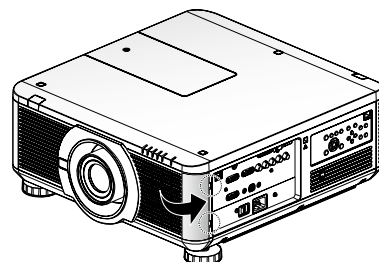
4. フィルターを取り付けます。



5. フィルターカバーのピンをプロジェクターに合わせます。



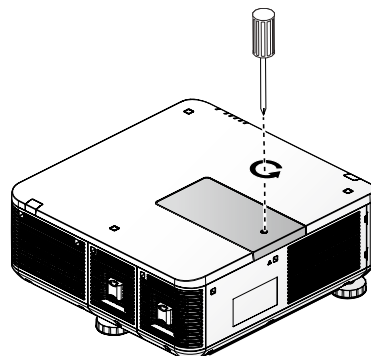
6. フィルターカバーを取り付けます。



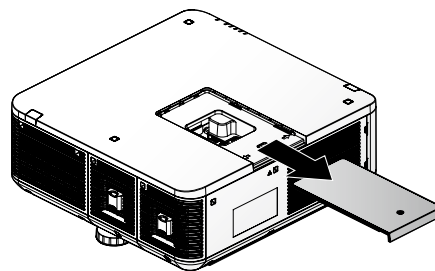
カラー ホイールの交換

ユニットを交換する前に、プロジェクターを完全に冷ますために電源を切ってから 45 分以上待ってください。

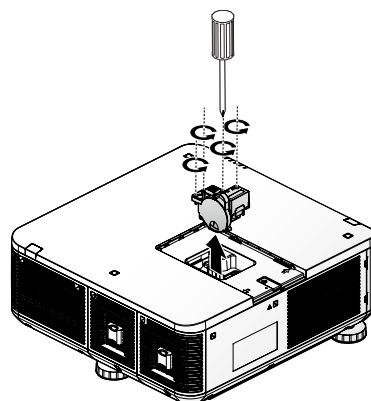
1. 電源を適切に切るには、POWER LED が赤く点灯してからプロジェクタの電源 SW を切ってください。その後に電源コードを抜けば安全です。45 分以上、ランプとプロジェクターを冷ましてください。
2. 固定ねじをゆるめ、カラーホイールカバーを取外します。



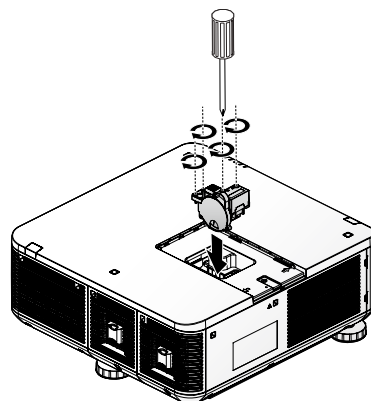
3. カラーホイールカバーをスライドさせて取り外します。



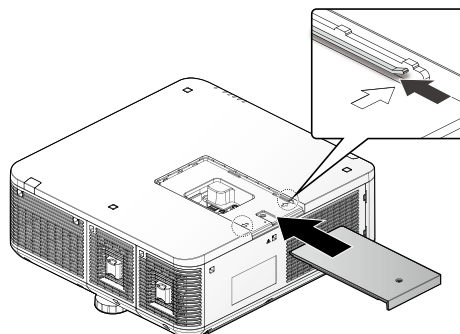
4. カラーホイール固定ねじをゆるめます。
5. カラーホイールを取り外します。



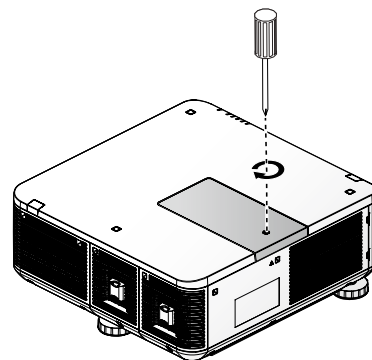
6. カラーホイールを取り付けます。
7. カラーホイール固定ねじを締めます。



8. カラーホイールカバーと本体を合わせ、スライドさせて取り付けます。



-
9. 固定ねじを締めます。



プロジェクターの清掃

プロジェクターの正常な動作のために、ほこりや汚れを取り除いてください。

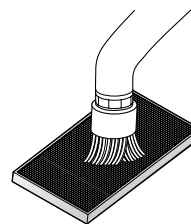
警告：

本体を清掃するときには、必ずプロジェクターの電源を切り、電源コンセントを抜き、45 分以上放置してから行ってください。電源を切った直後は本体が高温になっているため、やけどの原因となることがあります。

フィルターの清掃

フィルターのスポンジは、プロジェクター本体内へのほこりの侵入を防ぎます。フィルターはこまめに清掃を行ってください。フィルターが汚れていたり、詰まっていると、プロジェクターの温度異常の原因となることがあります。

1. 清掃前にプロジェクターの電源を切ってください。
2. フィルター交換の手順は 57 ページの「[フィルターの交換](#)」を参照してください。
3. 掃除機を使ってフィルターに付着したほこりを吸い取ります。
4. フィルターを取り付けます。



注：

- 掃除機を使ってフィルターを掃除する場合、掃除機に付属のブラシなどを使い、フィルターを傷つけないように注意してください。
- フィルターは水洗いしないでください。目詰りの原因となることがあります。

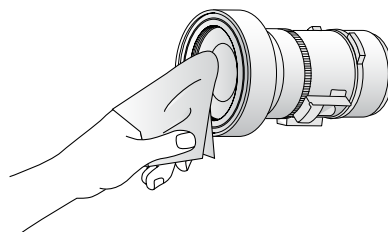
レンズの清掃

カメラ用に市販されている光学レンズクリーナーを使用してください。プロジェクターのレンズの清掃については、以下を参照してください。

注意：

1. 研磨剤や溶剤などを使用しないでください。
2. 変色や色あせの原因になりますので、プロジェクター本体にクリーナーを付着させないよう注意してください。

1. 清掃前にプロジェクターの電源を切ってください。
2. 少量の光学レンズクリーナーを柔らかい布に塗布します。(クリーナーをレンズに直接付着させないでください。)
3. レンズ表面に円を描くように軽く拭き取ります。

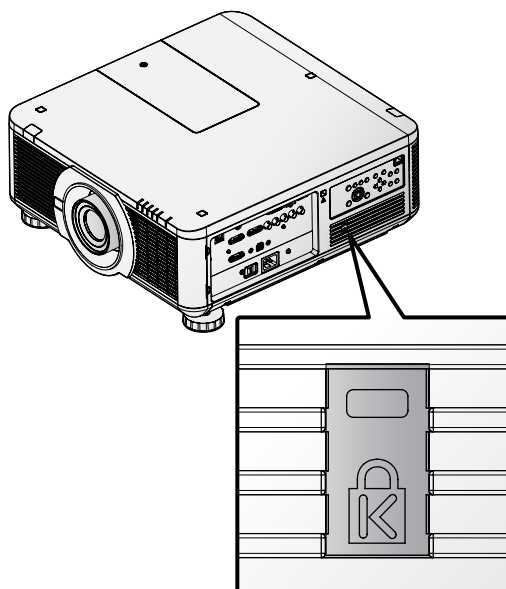


キャビネットの清掃

1. 清掃前にプロジェクターの電源を切ってください。
2. 本体に付いたホコリは、乾いた軟らかい布で拭き取ってください。汚れがひどいときには、薄めた中性洗剤を使用してください。

Kensington® ロックの使用

盗難等の可能性がある場合には、プロジェクター本体の Kensington ポートに盗難防止ワイヤーを取り付け、家具などに固定することができます。



注：

取付が可能な Kensington ケーブルなどについては、販売店にお問い合わせください。

トラブルシューティング

映像に関する問題

症状：映像が投写されない。

1. ノート PC およびデスクトップ PC の設定を確認してください。
2. 正しい順番で全ての機器の電源を切って、再度起動してください。

症状：映像が鮮明でない。

1. プロジェクターの [フォーカス] を調整してください。
2. リモコンの【AUTO PC】ボタンを押してください。
3. プロジェクターとスクリーンの距離が適正であるか確認してください。
4. プロジェクターのレンズを清掃してください。

症状：映像の上側または下側が広がっている。（キーストーン歪み）

1. プロジェクターを出来る限り水平に設置してください。
2. OSD の [調整] メニューの [キーストーン] の調整を行ってください。

症状：映像が反転している。

OSD の [調整] メニューから [投写モード] 設定を確認してください。

症状：映像に縞状の線が入る。

1. OSD の [映像調整] メニューの [VGA セットアップ] の調整を行ってください。
2. PC のビデオカードが原因でないことを確認するために、異なるコンピューターに接続してください。

症状：映像が平らで明暗が無い。

OSD の [映像調整] メニューから [コントラスト] 設定を調整してください。

症状：投写イメージが元々のイメージと異なっている。

1. OSD の [映像調整] メニューから [ガンマ] 設定を調整してください。
2. OSD の [映像調整] メニューから [色温度] 設定を調整してください。

ランプに関する問題

症状：プロジェクターから光が投写されない。

1. プロジェクターの電源ケーブルがしっかりと接続されていることを確認してください。
2. 異なる電気機器を接続して、電源が供給されているかどうかを確認してください。
3. 正しい手順でプロジェクターを再起動させ、POWER LED が点灯しているかを確認してください。
4. 直前にランプを交換した場合には、ランプの接続を再度確認してください。
5. ランプを交換して現象が直るか確認してください。
6. 現象が直らない場合は、元のランプを再度取り付けて、本機の修理を依頼してください。

症状：ランプが消えた。

1. サージ電流によってランプが消えることがあります。電源ケーブルを抜いて、再度挿してください。POWER LED が点灯したら、電源ボタンを押してください。
2. ランプを交換して現象が直るか確認してください。
3. 現象が直らない場合は、元のランプを再度取り付けて、本機の修理を依頼してください。

リモコンに関する問題

症状：リモコン操作にプロジェクターが反応しない。

1. プロジェクター本体のリモコン受光部にリモコンを向けて操作してください。
2. リモコンとリモコン受光部の間に障害物が無いようにしてください。
3. 室内の蛍光灯を切ってください。
4. 電池の極性を確認してください。
5. 電池を交換してください。
6. 周囲にある赤外線機器を切ってください。
7. リモコンの修理を依頼してください。

プロジェクターの修理について

この商品には保証書がついています

保証書は、本機に付属しています。お買い上げ日、販売店名などが記入されていることをお確かめの上、内容をお読みいただき、大切に保管してください。なお、保証内容については保証書に記載しております。

修理サービスのご相談

修理サービスのご相談は、裏表紙のキヤノンお客様相談センターにご相談ください。（ランプはキヤノンホームページからもご購入いただけます。）

修理を依頼される前に

63 ページの「トラブルシューティング」を参照してくださいにそって故障かどうかお確かめください。それでも直らない場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、修理をご依頼ください。

修理方法

本商品は、引取修理させていただきます。

お客様先にプロジェクターを引取にお伺いし、修理完了後にお届けいたします。また、ご要望により代替機の貸出サービスを準備しております。

修理を依頼されるときにご連絡いただきたいこと

- お客様のお名前
- ご住所、お電話番号
- 商品の機種名およびシリアルナンバー
- 故障の内容（できるだけ詳しく）

仕様

製品仕様

型名		LX-MU700
表示方式		1 チップ DLP ™
映像表示	形式	DMD
	サイズ / アスペクト比	0.67 型 x 1/16:10
	駆動方式	DLP ™ x 1 チップ
	画素数 / 総画素数	2,304,000 (1920 x 1200) x 1 枚 / 2,304,000
投影距離 (m)	ズーム比 / 焦点距離 / F 値	1.3 x / f = 26 ~ 34mm / F = 1.64 ~ 1.86
	ズーム方式 / フォーカス方式	電動 / 電動
	レンジシフト	V:0% ~ +50%、H:± 10% 電動
光源		超高圧水銀ランプ 350W x 2
画面サイズ (当社距離) (*1)		50 ~ 300 (1.83-14.9 m / 6 ~ 49)
再現色数		10 億 7000 万色
明るさ (*1) (*2) (*3)		7500 ルーメン
コントラスト比 (*1) (*2) (*3)		2100:1 (完全白:完全黒、ダイナミックブラック ON、プレゼンテーション モード時)
ディスプレイスキャン周波数		H:15-108 kHz、V:48-120 Hz
最大入力解像度		1920 x 1200 ドット
映像入力	デジタル PC	WUXGA (RB) / WSXGA+ / UXGA / SXGA+ / WXGA+ / WXGA / SXGA / XGA / SVGA / VGA
	アナログ PC	WUXGA (RB) / WSXGA+ / UXGA / SXGA+ / WXGA+ / WXGA / SXGA / XGA / SVGA / VGA
	デジタル PC	1080p / 1080i / 720p / 576p / 480p
	コンポーネントビデオ	1080p / 1080i / 720p / 576p / 480p / 576i / 480i
	HDBaseT	デジタル PC、デジタルビデオと同じ。
入力端子	HDMI	デジタル PC、デジタルビデオ
	DVI-D	デジタル PC、デジタルビデオ
	DisplayPort	デジタル PC、デジタルビデオ
	RJ45	HDBaseT / ネットワーク
	5BNC	アナログ PC / コンポーネントビデオ
	D-sub 15 ピン	アナログ PC
	D-sub 15 ピン (出力)	アナログ PC
	Dsub9	RS-232 (シリアル接続)
	USB タイプ B	メンテナンス用に PC に接続します
	ミニピン端子	有線リモコンに接続します
	ミニピン端子	12 V 出力 (スクリーン操作を作動)
	3D シンク出力	3D IR 同期出力
騒音		36 / 41dB (デュアルランプ、エコ / ノーマル)
使用温度範囲		5℃ ~ 40℃
電源		AC 100-240V、50/60Hz
最大消費電力		850W
スタンバイ消費電力		エコスタンバイ: <0.5W (RJ-45 オフ、RS-232 オフ) ネットワーク スタンドバイ < 6W with RJ-45

寸法 (W x D x H)	504 x 529 x 221 mm (突起部含む)
重量 (レンズ含まず)	20.5 kg (45.2 lbs)
付属品	リモコン、マンガン電池 (単三形)、電源ケーブル、コンピューターケーブル、ダストキャップ、カラーホイール、レンズ用盗難防止ねじ、重要なお知らせ、使用説明書 (CD-ROM)、かんたんガイド、保証書

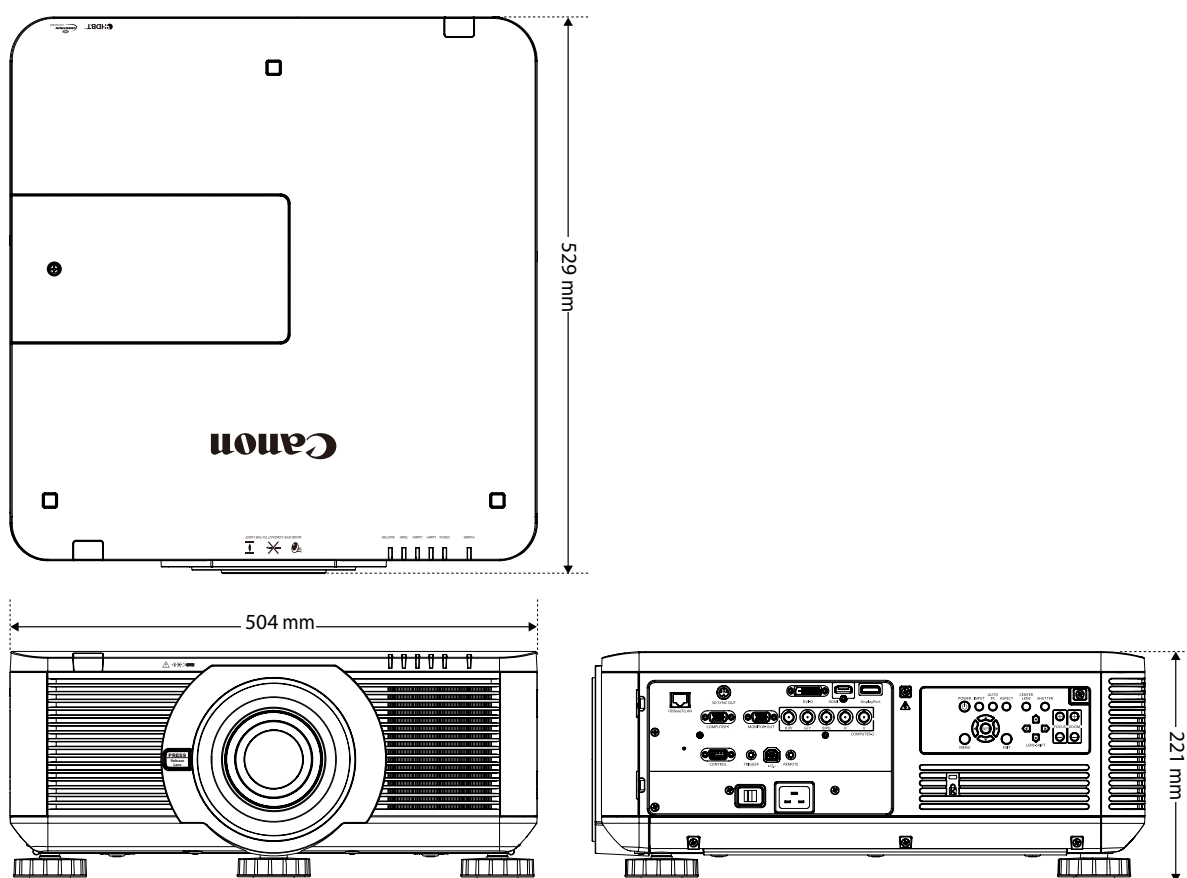
(*1) LX-IL03ST (標準ズームレンズ) を使用する場合

(*2) ランプモード: デュアル、ランプパワー: ノーマル

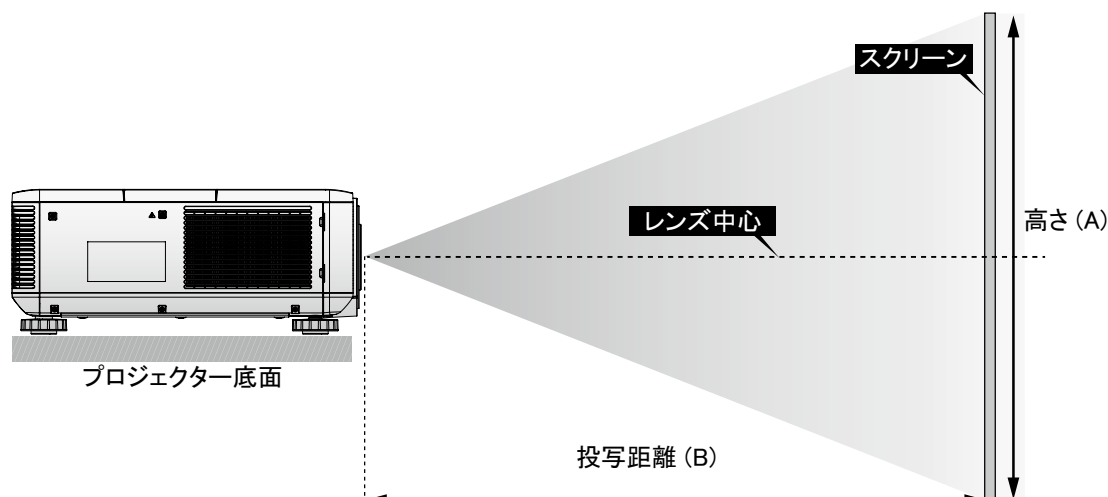
(*3) 出荷時における本プロジェクター全体の平均的な値を示しており、JIS X 6911:2015 データプロジェクターの仕様書様式に則って記載しています。測定方法、測定条件については附属書 B に基づいています。

本プロジェクターは JIS C 61000-3-2 適合品です。

寸法図



投影寸法



スクリーンサイズ						投写距離 (B)							
対角 (インチ) (m)						LX-IL01UW				LX-IL02WZ			
						超短焦点ズームレンズ				短焦点ズームレンズ			
						Wide		Tele		Wide		Tele	
(インチ)	(m)	(インチ)	(m)	(インチ)	(m)	(インチ)	(m)	(インチ)	(m)	(インチ)	(m)	(インチ)	(m)
40	1.02	34	0.86	21	0.54	24.5	0.62	31.1	0.79	41.4	1.05	59.9	1.52
50	1.27	42	1.08	26	0.67	31.1	0.79	39.2	1	52.3	1.33	75.4	1.92
60	1.52	51	1.29	32	0.81	37.6	0.96	47.4	1.2	63.1	1.6	90.9	2.31
80	2.03	68	1.72	42	1.08	50.8	1.29	63.8	1.62	84.9	2.16	121.8	3.09
100	2.54	85	2.15	53	1.35	63.9	1.62	80.2	2.04	106.6	2.71	152.7	3.88
120	3.05	102	2.58	64	1.62	77.1	1.96	96.6	2.45	128.4	3.26	183.6	4.66
150	3.81	127	3.23	79	2.02	96.8	2.46	121.1	3.08	161	4.09	230	5.84
180	4.57	153	3.88	95	2.42	116.5	2.96	145.7	3.7	193.6	4.92	276.4	7.02
200	5.08	170	4.31	106	2.69	129.7	3.29	162.1	4.12	215.3	5.47	307.3	7.81
300	7.62	254	6.46	159	4.04	195.4	4.96	244	6.2	324	8.23	461.9	11.73
400	10.16	339	8.62	212	5.38	261.2	6.63	325.9	8.28	432.7	10.99	616.6	15.66
500	12.7	424	10.77	265	6.73	326.9	8.3	407.7	10.36	541.5	13.75	771.2	19.59

スクリーンサイズ						投写距離 (B)							
対角 (インチ) (m)						LX-IL03ST				LX-IL04MZ			
						標準ズームレンズ				中焦点ズームレンズ			
						Wide		Tele		Wide		Tele	
(インチ)	(m)	(インチ)	(m)	(インチ)	(m)	(インチ)	(m)	(インチ)	(m)	(インチ)	(m)	(インチ)	(m)
40	1.02	34	0.86	21	0.54	57.2	1.45	75.8	1.93	73.6	1.87	124.1	3.15
50	1.27	42	1.08	26	0.67	72.1	1.83	95.5	2.42	92.9	2.36	155.9	3.96
60	1.52	51	1.29	32	0.81	87.1	2.21	115.1	2.92	112.1	2.85	187.8	4.77
80	2.03	68	1.72	42	1.08	117	2.97	154.3	3.92	150.5	3.82	251.4	6.39
100	2.54	85	2.15	53	1.35	147	3.73	193.5	4.92	188.9	4.8	315	8
120	3.05	102	2.58	64	1.62	176.9	4.49	232.8	5.91	227.6	5.78	378.6	9.62
150	3.81	127	3.23	79	2.02	221.8	5.63	291.6	7.41	285	7.24	474.1	12.04
180	4.57	153	3.88	95	2.42	266.7	6.77	350.5	8.9	342.6	8.7	569.5	14.47
200	5.08	170	4.31	106	2.69	296.6	7.53	389.7	9.9	381	9.68	633.1	16.08
300	7.62	254	6.46	159	4.04	446.3	11.34	585.9	14.9	573.2	14.56	951.2	24.16
400	10.16	339	8.62	212	5.38	595.9	15.14	782.3	19.87	765.3	19.44	1269.7	32.25
500	12.7	424	10.77	265	6.73	745.6	18.94	978.3	24.85	957.4	24.32	1587.8	40.33

** 表は投影可能範囲を示していますが、光学性能は 50 ～ 300 インチの範囲においてのみ保証されます。

スクリーンサイズ						投写距離 (B)							
						LX-IL05LZ				LX-IL06UL			
						長焦点ズームレンズ				超長焦点ズームレンズ			
対角		幅		高さ (A)		Wide		Tele		Wide		Tele	
(インチ)	(m)	(インチ)	(m)	(インチ)	(m)	(インチ)	(m)	(インチ)	(m)	(インチ)	(m)	(インチ)	(m)
40	1.02	34	0.86	21	0.54	118.7	3.01	181	4.6	173.9	4.42	277.7	7.05
50	1.27	42	1.08	26	0.67	149.7	3.8	227.6	5.78	220.2	5.59	350	8.89
60	1.52	51	1.29	32	0.81	180.7	4.59	274.1	6.96	266.6	6.77	422.3	10.73
80	2.03	68	1.72	42	1.08	242.7	6.16	367.3	9.33	359.4	9.13	567	14.4
100	2.54	85	2.15	53	1.35	304.3	7.73	460.4	11.7	452.1	11.48	711.6	18.07
120	3.05	102	2.58	64	1.62	366.7	9.31	553.6	14.06	544.9	13.84	856.2	21.75
150	3.81	127	3.23	79	2.02	459.4	11.67	693.3	17.61	684	17.37	1073.1	27.26
180	4.57	153	3.88	95	2.42	552.4	14.03	833	21.16	823.1	20.91	1290.1	32.77
200	5.08	170	4.31	106	2.69	614.7	15.6	926.4	23.53	915.9	23.26	1434.7	36.44
300	7.62	254	6.46	159	4.04	924	23.47	1392.1	35.36	1379.6	35.04	2157.8	54.81
400	10.16	339	8.62	212	5.38	1233.9	31.34	1857.9	47.19	1843.3	46.82	2880.9	73.18
500	12.7	424	10.77	265	6.73	1543.7	39.21	2323.6	59.02	2307.1	58.6	3604	91.54

スクリーンサイズ						投写距離 (B)	
						LX-IL07WF	
対角		幅		高さ (A)		短焦点固定レンズ	
(インチ)	(m)	(インチ)	(m)	(インチ)	(m)		
40	1.02	34	0.86	21	0.54	25.1	0.64
50	1.27	42	1.08	26	0.67	31.8	0.81
60	1.52	51	1.29	32	0.81	38.5	0.98
80	2.03	68	1.72	42	1.08	52	1.32
100	2.54	85	2.15	53	1.35	65.5	1.66
120	3.05	102	2.58	64	1.62	78.9	2.01
150	3.81	127	3.23	79	2.02	99.1	2.52
180	4.57	153	3.88	95	2.42	119.3	3.03
200	5.08	170	4.31	106	2.69	132.8	3.37
300	7.62	254	6.46	159	4.04	200.1	5.08
400	10.16	339	8.62	212	5.38	267.4	6.79
500	12.7	424	10.77	265	6.73	334.8	8.5

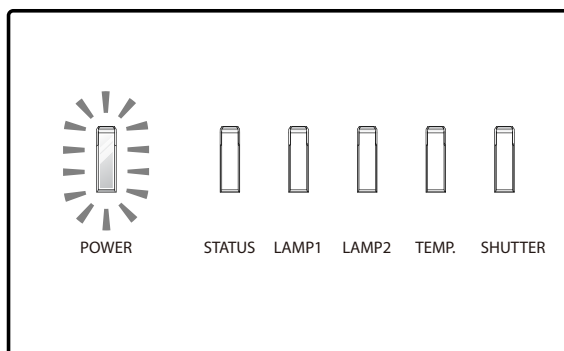
** 表は投影可能範囲を示していますが、光学性能は 50 ～ 300 インチの範囲においてのみ保証されます。

レンズ シリーズ

型番	レンズ名称	F ナンバー	焦点距離	ズーム比	スクリーン サイズ	投射距離	レンズ シフト 範囲	
						WUXGA	縦	横
LX-IL01UW	超短焦点ズームレンズ	1.96-2.3	11.3-14.1mm	1.25:1	40"-500"	0.75-0.93:1	0~50%	+/-6.7%
LX-IL02WZ	短焦点ズームレンズ	1.85-2.5	18.7-26.5mm	1.41:1	40"-500"	1.25-1.79:1	0~50%	+/-10%
LX-IL03ST	標準ズームレンズ	1.7-1.9	26-34mm	1.3:1	40"-500"	1.73-2.27:1	0~50%	+/-10%
LX-IL04MZ	中焦点ズームレンズ	1.86-2.48	32.9-54.2mm	1.65:1	40"-500"	2.22-3.67:1	0~50%	+/-10%
LX-IL05LZ	長焦点ズームレンズ	1.85-2.41	52.8-79.1mm	1.5:1	40"-500"	3.58-5.38:1	0~50%	+/-10%
LX-IL06UZ	超長焦点ズームレンズ	1.85-2.48	78.5-121.9mm	1.55:1	40"-500"	5.31-8.26:1	0~50%	+/-10%
LX-IL07WF	短焦点固定レンズ	1.85	11.6mm	-	40"-500"	0.76:1	0%	0%

** 表は投影可能範囲を示していますが、光学性能は 50 ～ 300 インチの範囲においてのみ保証されます。

LED インジケータの表示について



LED POWER インジケータ

LED 表示		プロジェクターの状況	対策
オフ		電源オフ	
点滅	緑	電源を入れています。	映像が表示されるまで待ってください。
	オレンジ	プロジェクター冷却中です。	冷却が完了するまで待ってください。(最大 120 秒)
オン	赤	スタンバイモード	
	緑	プロジェクターがオンになっています。	

LED STATUS インジケータ

LED 表示		プロジェクターの状況	対策
オフ		問題なし。	
点滅	赤 (サイクル 1)	カバーの異常。	
	赤 (サイクル 4)	ファンの異常。	
オン	赤	システムエラー。	

LED LAMP1/LAMP2 インジケータ

LED 表示		プロジェクターの状況	対策
オフ		ランプオフ	
点滅	緑	ランプを点灯する用意をしています。	
	赤 (サイクル 6)	ランプが点灯できませんでした。	
オン	赤	ランプの寿命です。	
	緑	ランプが点灯しています。	

LED TEMP インジケータ

LED 表示		プロジェクターの状況	対策
オフ		問題なし。	
点滅	赤	温度の異常。	

LED SHUTTER インジケータ

LED 表示		プロジェクターの状況	対策
オフ		シャッターが開いています。	
点滅	緑	シャッターが閉じています。	

対応入力信号

コンピューター

信号種類	解像度	水平周波数 (KHz)	垂直周波数 (Hz)	クロック (MHz)	BNC - RGBHV	BNC - YUV	HD15 - RGBHV	HD15 - YUV	DVI-D (EIA タイミング)	HDMI RGB (EIA タイミング)	HDMI YUV (EIA タイミング)	DisplayPort	HDBaseT	3D FS サポート
PC	640*480-60	31.47	59.93	25.175	V	-	V	-	V	V	-	V	V	V
	640*480-75	37.5	75	31.5	V	-	V	-	V	V	-	V	V	-
	640*480-85	43.27	85.01	36	V	-	V	-	V	V	-	V	V	-
	800*600-60	37.88	60.32	40	V	-	V	-	V	V	-	V	V	V
	800*600-75	46.88	75	49.5	V	-	V	-	V	V	-	V	V	-
	800*600-85	53.67	85.06	56.25	V	-	V	-	V	V	-	V	V	-
	848*480-60	31.02	60	33.75	V	-	V	-	V	V	-	V	V	V
	1024*768-60	48.36	60	65	V	-	V	-	V	V	-	V	V	V
	1024*768-75	60.02	75.03	78.75	V	-	V	-	V	V	-	V	V	-
	1024*768-85	68.88	85.03	94.5	V	-	V	-	V	V	-	V	V	-
	1280*720-60	44.69	59.91	74.37	V	-	V	-	V	V	-	V	V	V
	1280*768-60	47.8	59.87	79.5	V	-	V	-	V	V	-	V	V	V
	1280*800-60	49.702	59.81	83.5	V	-	V	-	V	V	-	V	V	V
	1280*960-60	60	60	108	V	-	V	-	V	V	-	V	V	V
	1280*1024-60	63.98	60.02	108	V	-	V	-	V	V	-	V	V	V
	1280*1024-75	79.98	75.02	135	V	-	V	-	V	V	-	V	V	-
	1280*1024-85	91.15	85.02	157.5	V	-	V	-	V	V	-	V	V	-
	1366*768-60	47.71	59.79	85.5	V	-	V	-	V	V	-	V	V	V
	1440*900-60	55.935	59.887	106.5	V	-	V	-	V	V	-	V	V	V
	1400X1050-60	65.517	59.98	121.75	V	-	V	-	V	V	-	V	V	V
	1600*1200-60	75	60	162	V	-	V	-	V	V	-	V	V	V
SDTV	1680*1050-59.94	65.179	59.94	146	V	-	V	-	V	V	-	V	V	V
	1920*1200RB-60	74.04	59.95	154	V	-	V	-	V	V	-	V	V	V
	1440x480i	15.73	60	27	-	-	-	-	-	V	V	-	V (HDMI)	-
	1440x576i	15.62	50	27	-	-	-	-	-	V	V	-	V (HDMI)	-
	480i	15.734	59.94	13.5	-	V	-	V	-	-	-	-	-	-
EDTV	576i	15.625	50	13.5	-	V	-	V	-	-	-	-	-	-
	480p	31.47	59.94	27	V	V	V	V	V	V	V	V	V	-
	576p	31.25	50	27	V	V	V	V	V	V	V	V	V	-
	1080i	28.13	50	74.25	-	V	-	V	V	V	V	V	V	-
	1080i	33.75	60	74.25	-	V	-	V	V	V	V	V	V	-
	720p	37.5	50	74.25	V	V	V	V	V	V	V	V	V	V
	720p	45	60	74.25	V	V	V	V	V	V	V	V	V	V
	1080p	27	24	74.25	V	V	V	V	V	V	V	V	V	-
	1080p	28.13	25	74.25	V	V	V	V	V	V	V	V	V	-
	1080p	33.72	29.97	74.175	V	V	V	V	V	V	V	V	V	-
	1080p	33.75	30	74.25	V	V	V	V	V	V	V	V	V	-
	1080p	56.25	50	148.5	V	V	V	V	V	V	V	V	V	V
	1080p	67.5	60	148.5	V	V	V	V	V	V	V	V	V	V

3D 信号入力モード

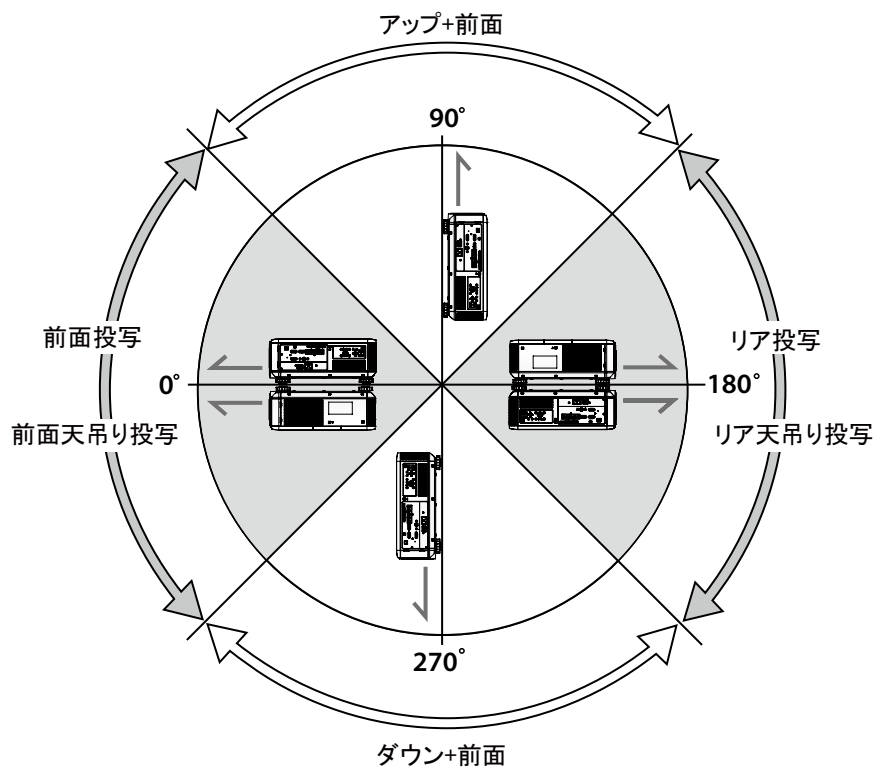
タイミング方式	水平周波数 (KHz)	垂直周波数 (Hz)	画素	H	H	H	H	H	V	V	V	V	V	注
			クロック (MHz)	合計画素	表示画素	フロントポート	シンク	バックポート	トータルライン	ディスプレイライン	フロントポート	シンク	バックポート	オート
720p_50	37.5	50	74.25	1980	1280	440	40	220	750	720	5	5	20	OK
720p_60	45	60	74.25	1650	1280	110	40	220	750	720	5	5	20	OK
1080i_50	28.125	25	74.25	2640	1920	528	44	148	562	540	2	5	15	OK
1080i_60	33.75	30	74.25	2200	1920	88	44	148	562	540	2	5	15	OK
1080p_24	27	24	74.25	2750	1920	638	44	148	1125	1080	4	5	36	OK
1080p_50	56.25	50	148.5	2640	1920	528	44	148	1125	1080	4	5	36	OK
1080p_60	67.5	60	148.5	2200	1920	88	44	148	1125	1080	4	5	36	OK

* 以下のタイミング形式は、HDMI あるいは HDBaseT ソースからの InfoFrame パケット (HDMI 1.4a 規格に基づく) を運ぶ 3D 形式を必要とします。

タイミング方式	3D 形式サポート		
	FP	SBS	TAB
720p_50	V	V	V
720p_60	V	V	V
1080i_50		V	
1080i_60		V	
1080p_24	V	V	V
1080p_50		V	V
1080p_60		V	V

投写モードについて

1. 下図を参照し、**アライメント** メニューから**投影モード**を選択してください。選択肢は〔前面投写〕、〔リア投写〕、〔天吊投写〕、〔リア・天吊投写〕、〔上向き+前面投写〕、〔下向き+前面投写〕です。
2. $\pm 15^\circ$ 以上の傾きがある場所にプロジェクターが設置されている場合には、ランプメニューから**高地モード**機能を**オン**にしてください。これは高地環境などでプロジェクターを使用する時に、ファンの回転速度を上げる機能です。
3. プロジェクター設置角度が 15° を超えないようにしてください。角度が超過した状態で使用すると、ランプの寿命が縮まる可能性があります。プロジェクターを斜めに設置して使用する場合、ランプの寿命が半分を越したらランプを交換することをお勧めします。



付録

Canon LX-MU700 プロトコルコマンド

スタンバイ モードが**標準**の時にコマンドを利用できます。

インターフェイスおよび要件 (Ver 0.3)

シリアル (RS-232) インターフェイス

RS-232 コマンドでは、Windows HyperTerminal などの一般的なターミナルで入力される ASCII 表記のみを使用することができます。

使用することができる設定は次の通りです。

ビット / 秒: 115200 (初期値) / 57600 / 38400 / 19200 / 14400 / 9600 / 4800 / 2400 (OSD メニューから設定可能)

データビット: 8

パリティ: 無し

ストップビット: 1

フローコントロール: 無し

各キャラクターは MCU によってターミナル上で繰り返されるため、ターミナル設定でローカルエコーを「ON」にする必要はありません。

TCP / IP インターフェイス

オペレーション コマンドは、Telnet プロトコルを通じて利用可能です。設定については [50 ページ](#)を参照してください。

HDBaseT によるシリアルおよび TCP / IP インターフェイス

1 秒あたりのシリアル ビットは、HDBaseT により 9600 に固定されています。その他の設定は上記と同じです。

システムオペレーションコマンド

この操作コマンドはプロジェクターに動作指示を出します。全てのコマンドは 2 文字で始まります。「OP」の後にスペース [SP] を入力し、その後に操作コマンドと希望する数値を入力します。全てのコマンドは、以下にて [CR] と表記されているキャリッジリターン (ASCII hex 0D) で終了する必要があります。操作コマンドのシンタックスは以下の通りです。

op[SP]< 操作コマンド >[SP]< 設定数値 >[CR]

Excute ファンクションを除き、プロジェクターからのレスポンスはコマンド + 「=<value>」となり、<value> は現在の数値、または該当が無い場合には「NA」 (-) となります。Execute ファンクションの場合には、レスポンスは同じコマンドです。全てのレスポンスは CAPS で送信されます。コマンド一覧と使用例は以下の表を参照してください。

システムオペレーションコマンド

操作	操作	数値
Set	= <value>	数値を適用します。
Get	?	現在の数値を問合せます。
Increment	+	現在の数値に 1 を追加します。
Decrement	-	現在の数値から 1 を減らします。
Execute	(none)	リセットなどの動作を実行します。

モーターオペレーションコマンド

レンズシフト、フォーカス、ズームなどのモータ操作では、「+」および「-」パラメーターは次のように定義されます。

コマンド項目	コマンド	システムアクション
focus	+ -	+ => 焦点を近く - => 焦点を遠く
zoomio	+ -	+ => ズームアウト - => ズームイン

コマンド項目	コマンド	システムアクション
Vert.offset	+ -	+ => アップ - => ダウン
horiz.offset	+ -	+ => 右 - => 左
lens.center	(execute)	中心点シフト
shutter	+ -	+ => 閉じる - => 開く

Get オペレーションコマンドの例

Input: op bright ? [CR]

System response: OP BRIGHT = 100

Increase & Decrease オペレーションコマンドの例

Input: op bright + [CR]

System response: OP BRIGHT = 101

Input: op bright - [CR]

System response: OP BRIGHT = 126

Set オペレーションコマンドの例

Input: op bright = 127 [CR]

System response: OP BRIGHT = 127

Execute コマンドの例

Input: op auto.img [CR]

System response: OP AUTO.IMG

DP9675QDPxA の有効な操作コマンドは以下の表の通りです。

1. 入力

項目	操作	コマンド	数値	注
1-1	input.sel	= ?	0 = HDMI 1 = DVI-D 2 = Computer-1 3 = Computer-2/BNC 4 = DP 5 = HDBaseT	注 1、注 3

項目	操作	コマンド	数値	注
1-2	pattern	= ?	0 = カラーバー 1 = クロスハッチ 2 = バースト 3 = 赤 (TI) 4 = 緑 (TI) 5 = 青 (TI) 6 = 白 (TI) 7 = 黒 (TI) 8 = H ランプ (TI) 9 = 赤 (未補正) 10 = 緑 (未補正) 11 = 青 (未補正) 12 = 白 (未補正) 13 = 黒 (未補正) 14 = オフ	注 1
1-3	color.space	= ?	0 = オート 1 = YCbCr (Rec.601) 2 = YPbPr (Rec.709) 3 = RGB-PC (0 - 255) 4 = RGB-Video (16 - 235)	注 2
1-4	input.lock	= ?	0 = オート 1 = 48 Hz 2 = 50 Hz 3 = 60 Hz	注 2
1-5	no.signal	= ?	0 = ロゴ 1 = 青 2 = 黒 3 = 白	注 1
1-6	auto.img (Auto Sync)	(execute)		注 2
1-7	blue.only	= ?	0 = オフ 1 = オン	注 1

2. ピクチャー

項目	操作	コマンド	数値	注
2-1	pic.mode	= ?	0 = プレゼンテーション 1 = スタンダード 2 = ビデオ	
2-2	contrast	= ? + -	0 - 200	注 2
2-4	bright	= ? + -	0 - 200	注 2
2-5	saturat	= ? + -	0 - 200	注 2、注 4
2-6	tint	= ? + -	0 - 200	注 2、注 4
2-7	gamma	= ?	0 = 映画 1 = グラフィック 2 = ビデオ 3 = リニア 4 = PC	注 2

項目	操作	コマンド	数値	注
2-8-1	color.temp	= ?	0 = ネイティブ 1 = 5400K 2 = 6500K 3 = 9300K	注 2、注 8
2-8-2-1	red.offset	= ? + -	0-200	注 2
2-8-2-2	green.offset	= ? + -	0-200	注 2
2-8-2-3	blue.offset	= ? + -	0-200	注 2
2-8-2-4	red.gain	= ? + -	0-200	注 2
2-8-2-5	green.gain	= ? + -	0-200	注 2
2-8-2-6	blue.gain	= ? + -	0-200	注 2
2-9	sharp	= ? + -	0 - 31	注 2
2-10	nr	= ? + -	0 -15 (ノイズリダクション)	注 2
2-11	aspect	= ?	0 = 5:4 1 = 4:3 2 = 16:10 3 = 16:9 4 = 1.88 5 = 2.35 6 = レターボックス 7 = オート 8 = トウルサイズ	注 1、注 5
2-12	zoom (Overscan)	= ?	0 = オフ 1 = クロップ 2 = ズーム	注 2
2-13-1	h.total	= ? + -	0-200	注 2、注 7
2-13-2	h.pos	= ? + -	0-200	注 2、注 7
2-13-3	h.phase	= ? + -	0-31	注 2、注 7
2-13-4	v.pos	= ? + -	0-200	注 2、注 7
2-14-1	hsg.r.gain	= ? + -	0-200	注 2
2-14-2	hsg.g.gain	= ? + -	0-200	注 2
2-14-3	Hsg.b.gain	= ? + -	0-200	注 2
2-14-4	hsg.c.gain	= ? + -	0-200	注 2
2-14-5	hsg.m.gain	= ? + -	0-200	注 2
2-14-6	Hsg.y.gain	= ? + -	0-200	注 2
2-14-7	hsg.r.sat	= ? + -	0-200	注 2
2-14-8	hsg.g.sat	= ? + -	0-200	注 2
2-14-9	Hsg.b.sat	= ? + -	0-200	注 2
2-14-10	hsg.c.sat	= ? + -	0-200	注 2
2-14-11	hsg.m.sat	= ? + -	0-200	注 2
2-14-12	Hsg.y.sat	= ? + -	0-200	注 2
2-14-13	hsg.r.hue	= ? + -	0-200	注 2
2-14-14	hsg.g.hue	= ? + -	0-200	注 2
2-14-15	Hsg.b. hue	= ? + -	0-200	注 2
2-14-16	hsg.c. hue	= ? + -	0-200	注 2
2-14-17	hsg.m. hue	= ? + -	0-200	注 2
2-14-18	Hsg.y. hue	= ? + -	0-200	注 2
2-14-19	hsg.wr.gain	= ? + -	0-200	注 2

項目	操作	コマンド	数値	注
2-14-20	hsg.wg.gain	= ? + -	0-200	注 2
2-14-21	Hsg.wb.gain	= ? + -	0-200	注 2

3. ランプ

項目	操作	コマンド	数値	注
3-1	lamps	= ?	0 = デュアル 1 = ランプ 1 2 = ランプ 2 3 = Single	注 1、注 8
3-2	lamp.mode (Drive)	= ?	0 = スタンダード 1 = エコノミー 2 = カスタム電源レベル	注 1
3-3	lamp.pwr	= ?	0 - 31 (75% ~ 100.0%)	注 1
3-4	altitude (High Altitude)	= ?	0 = オフ 1 = オン	注 1
3-5	lamp1.stat	?	0 = オフ 1 = オン 2 = Ignition Retry 3 = Waiting Switch Lamp 4 = Lamp Error	注 1
3-6	lamp2.stat	?	0 = オフ 1 = オン 2 = Ignition Retry 3 = Waiting Switch Lamp 4 = Lamp Error	注 1

4. アラインメント

項目	操作	コマンド	数値	注
4-1	proj.mode	= ?	0 = 前面投写 1 = リア投写 2 = 前面天吊り投写 3 = リア天吊り投写 4 = アップ + 前面 5 = ダウン + 前面	注 1
4-3-1	zoomio	+ -	+ => ズームアウト - => ズームイン	モーターコマンド、 注 1
4-3-2	focus	+ -	+ => Focus Near - => Focus Far	モーターコマンド、 注 1
4-3-3	vert.offset	+ -	+ => アップ - => ダウン	モーターコマンド、 注 1
4-3-4	horiz.offset	+ -	+ => 右 - => 左	モーターコマンド、 注 1
4-4-1	lens.load	=	1..10 set of lens memory (Load)	注 1
4-4-2	lens.save	=	1..10 set of lens memory (Save)	注 1
4-5	lens.center	(execute)	中心点シフト	注 1
4-6	v.keystone	= ? + -	-80 ~ 80	注 1

5. コントロール

項目	操作	コマンド	数値	注
5-1	eco.net.pow	= ?	0 = スタンダード 1 = エコ 2 = ネットワーク メニュー	
5-2	auto.powoff	= ?	0 = オフ 1 = オン	注 1
5-3	auto.powon	= ?	0 = オフ 1 = オン	
5-4-1	net.ipaddr	= ?	<string>	
5-4-2	net.subnet	= ?	<string>	
5-4-3	net.gateway	= ?	<string>	
5-4-4	net.dhcp	= ?	0 = オフ 1 = オン	
5-6-1	rs232.speed	= ?	0 = 115200 bps 1 = 57600 bps 2 = 38400 bps 3 = 19200 bps 4 = 14400 bps 5 = 9600 bps 6 = 4800 bps 7 = 2400 bps	
5-6-2	rs232.channel	= ?	0 = ローカル 1 = HDBaseT	
5-7	startup.logo	= ?	0 = オフ 1 = オン	
5-8	trig.1	= ?	0 = オフ 1 = オン	注 1
5-9	auto.src (Auto Search)	= ?	0 = オフ 1 = オン	注 1
5-10	dblack	= ?	0 = オフ 1 = オン	注 1
5-11-1	3d.format	= ?	0 = オフ 1 = オフ 2 = Side by Side 3 = Top / Bottom 4 = Frame Sequential	注 2
5-11-2	3d.dlplink	= ?	0 = オフ 1 = オン	注 2
5-11-3	3d.swap	= ?	0 = Normal 1 = Reverse	注 2

項目	操作	コマンド	数値	注
5-12	lang	= ?	0 = 英語 1 = フランス語 2 = スペイン語 3 = ドイツ語 4 = ポルトガル語 5 = オランダ語 6 = イタリア語 7 = ロシア語 8 = 簡体字中国語 9 = 繁体字中国語 10 = 韓国語 11 = 日本語	
5-13	remote.set	= ?	Set/Get ID 赤外線リモコンの番号をセット	

6. サービス

項目	操作	コマンド	数値	注
6-1	model	?	<string>	
6-2	ser.no	?	<string>	
6-3	sw.ver	?	<string>	注 12
6-5	pixel.clock	?	<string>	In MHz、注 2
6-6	signal	?	<string>	注 2
6-7-1	h.refresh	?	<string>	注 2
6-7-2	v.refresh	?	<string>	注 2
6-8	lamp1.hours	?	<string>	
6-9	lamp2.hours	?	<string>	
6-10	proj.runtime	?	<string>	
6-11	fact.reset	(execute)		

A. その他

項目	操作	コマンド	数値	注
A-1	power.on	(execute)		
A-2	power.off	(execute)		
A-3	status	?	0 = スタンバイ 1 = ウォームアップ 2 = イメージング 3 = クーリング 4 = リセット	
A-4	errcode	?	付録 A 参照	
A-5	psoc.ver	?	PSOC ファームウェアバージョン取得	
A-6	adc.rd	?	ADC キャリブレーションデータ取得	
A-7	f336.ver	?	F336 ファームウェアバージョン取得	
A-8	blst.ver	?	Ballast の HW & FW バージョン取得	
A-9	dlpsoc	(execute)	PSOC の最新 SW のダウンロード	
A-10	color.native	=?	0: 画質について通常の色設定 (デフォルト) 1: 光学データ測定についてネイティブの色設定	

項目	操作	コマンド	数値	注
A-11	edid.rd.vga	?	VGA edid の読み込み	
A-12	edid.rd.hdmi	?	hdmi edid の読み込み	
A-13	edid.rd.dvi	?	dvi edid の読み込み	
A-14	edid.rd.dp	?	dvi edid の読み込み	
A-15	lamp1.reset	(execute)	ランプ 1 時間のリセット	
A-16	lamp2.reset	(execute)	ランプ 2 時間のリセット	

B. 「ky」コマンド

「ky」コマンドのシンタックスは次の通りです。

ky[SP]<Operation>[CR]

「ky」コマンドは、ネットワーク設定がスタンバイ モードの時に利用不可能です。

項目	操作	動作
B-1	power.on	直ちに電源オン
B-2	power.off	直ちに電源オフ
B-3	menu	赤外線リモコンの [MENU] キーと同等
B-4	exit	赤外線リモコンの [EXIT] キーと同等
B-5	enter	赤外線リモコンの [ENTER] キーと同等
B-6	up	赤外線リモコンの [UP] キーと同等
B-7	down	赤外線リモコンの [DOWN] キーと同等
B-8	left	赤外線リモコンの [LEFT] キーと同等
B-9	right	赤外線リモコンの [RIGHT] キーと同等
B-10	nop	機能なし（プロジェクター作動確認のみ）

注 1: 入力コマンドに適用が無い場合、状況によっては「NA」が返されます。

注 2: スタンバイモードでは適用無し。

注 3: スタンバイモードまたは入力信号が無い場合には適用無し。

注 4: ブランクがオンの場合には適用無し。

注 5: YUV がソースの場合にのみ適用。

注 6: ズーム機能が「ズーム」設定されている場合、アスペクト比「リアル」は適用できません。

注 7: アスペクト比がリアルに設定されている場合、「ズーム」コマンドは適用できません。

注 8: ソースが Computer-1 および Computer-2 の場合のみ適用。

注 9: ランプ冷却中には適用無し。

注 10: eco.net.pow がオンの場合には適用無し。

●長年ご使用のプロジェクターの点検をぜひ！

（熱、湿気、ホコリなどの影響や使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には、安全性を損なって事故につながることもあります。）

このような
症状は
ありませんか

- 電源スイッチを入れても映像が出ない。
- 映像が時々消えることがある。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源スイッチを切っても、映像が消えない。
- 内部に水や異物が入った。
- その他異常や故障がある。



ご使用
中止

故障や事故防止のため、
スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

お客様メモ

品 番

お買い上げ年月日

年 月 日

お買い上げ店名



Canon

お客様相談センター(全国共通番号)

050-555-90071

[受付時間] 〈平日〉9:00～17:00

（土日祝日と年末年始弊社休業日は休ませていただきます）

※上記番号をご利用いただけない方は、043-211-9348をご利用ください。

※上記番号はIP電話プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。

※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。